



小樽市食育推進計画報告書

計画期間 平成 23 年度～29 年度



平成 29 年 12 月



小 樽 市

- 目次 -

1	現計画の概要	
(1)	計画策定の背景	1
(2)	計画の位置づけ	1
(3)	計画期間	2
(4)	基本目標	2
(5)	施策の体系	3
2	評価の観点	3
3	評価指標の把握	3
4	指標の達成状況	
(1)	指標の達成状況一覧	4
(2)	ひとづくりの指標達成状況	6
(3)	まちづくりの指標達成状況	16
5	市と関係団体の取組	
(1)	ひとづくりに関する取組	22
(2)	まちづくりに関する取組	29
6	まとめ	32
資料		
I)	小樽市食育推進連絡会設置要綱	34
II)	小樽市食育推進連絡会委員	35
III)	小樽市食育推進計画策定及び会議経過	38
IV)	小樽市食育推進計画評価アンケート結果	40
V)	アンケート調査票〔子ども・高校生・成人〕	59

1 現計画の概要

(1) 計画策定の背景

本市食育推進計画を策定した平成23年当時、「食」を取り巻く環境は大きく変化し、子どもや若者の朝食欠食や孤食^{こしよく}※¹、生活習慣病の増加など、あらゆる年代での食生活の課題が生じており、「食」を大切にする心も希薄になっている状況から、市民一人一人が、健全で豊かな食生活を実践することができる能力を育む食育の推進が求められていました。

このような背景を踏まえ、小樽市の特性を生かした食育を推進し、より積極的な国民運動として展開するために「小樽市食育推進計画」を策定しました。

※1 孤食^{こしよく}

家族と暮らしていながら、親や子がそれぞれ違う時間に一人一人食事をとること。
また、一人暮らしの人が一人でとる食事。

(2) 計画の位置づけ

本計画は「食育基本法」第18条^{※2}に基づき、食育に関する基本的な事項について定める市町村食育推進計画として位置づけました。

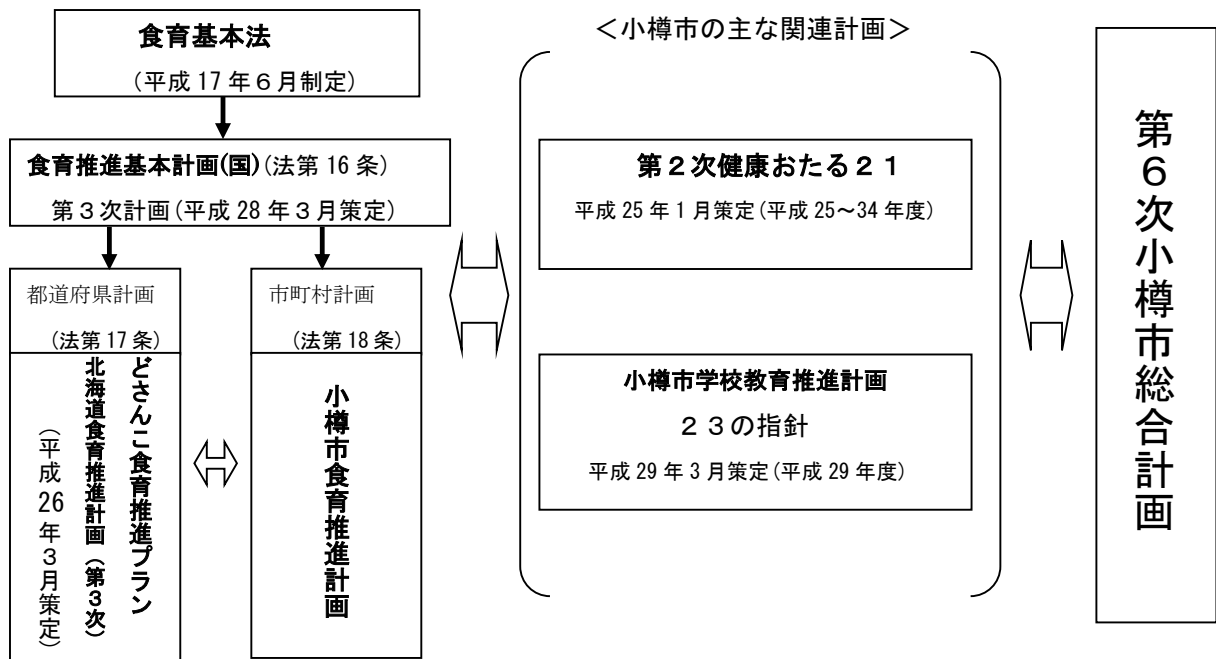
また、本計画は、小樽市総合計画の趣旨に沿うものとし、本市の他計画との関係は、次のとおりとしています。

1. 健康増進法に基づく市町村健康増進計画「第2次健康おたる21」と整合を図り、「食」を通した健康づくりができるよう支援していくための指針とします。
2. さらに、小樽市学校教育推進計画と連携を図りながら、食育の推進に取り組んでいくものとします。

※2 「食育基本法」第18条

市町村は、食育推進基本計画（都道府県食育推進計画が作成されているときは、食育推進基本計画及び都道府県食育推進計画）を基本として、当該市町村の区域内における食育の推進に関する施策についての計画（以下「市町村食育推進計画」という。）を作成するよう努めなければならない。

計画の位置づけと主な関連計画との関係



(3) 計画期間

計画期間は、当初平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間としていましたが、平成 25 年に策定した本市の健康増進計画「第 2 次健康おたる 2 1」と共通の目標指標を有していることから、整合性に配慮し、一体化した評価を行うため、計画を 2 年間延長し、平成 29 年度までの 7 年計画に改訂しました。

(4) 基本目標

市民が「たべる」を通じて生涯にわたり健康で豊かな生活を送れるよう、ひとづくり、まちづくりを進めます。

ひとづくり

市民が正しい食生活を身につけ、また、安全な食品の提供を受けることで、健康的な生活を送ることができるようにすることを目標とします。

まちづくり

「食」を通じて、世代や地域を超えたコミュニケーションを図り、活力あるにぎわいのまちを目指します。

行事食^{※3}、郷土料理に親しみながら郷土愛を培い、次世代への食文化の継承に努めます。
本市の新鮮で豊かな「食」を市内外に紹介していきます。

※3 行事食

行事食とは、四季折々の伝統行事などの際にいただく料理、特別な行事の時のはなやいだ食事のことをいいます。それぞれ旬の食材を取り入れたものが多く季節の風物詩の一つになっています。

(5) 施策の体系

ひとづくり (3つの目標)

「たべる」を楽しむ	「食」を通したコミュニケーションを楽しみ、豊かな人間性を育てます。
-----------	-----------------------------------

「たべる」を知る	「食」の安全・「食」の環境についての情報を発信します。
----------	-----------------------------

「たべる」を身につける	より良い食習慣の知識を広めます。
-------------	------------------

まちづくり (2つの目標)

「たべる」でふれあう	「食」を通じ、地域での交流を進めます。
------------	---------------------

「たべる」を伝える	地域における「食」の資源を大切に、次世代へ食文化を伝えていきます。
-----------	-----------------------------------

2 評価の観点

本評価は、小樽市の食育推進計画の目標の達成度、及び食育の取組みの広がりのほか、食育推進連絡会の構成や、市関連部局の事業などを含め総合的な観点から評価を行い、今後のあり方の検討に資するために実施しました。

3 評価指標の把握

平成28年度に実施した食育推進計画に関する市民アンケート及び毎年度把握している市関係部局と関連団体の取組などを用いて評価しました。

4 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況一覧

13指標のうち、目標を達成した指標は6指標、初期値より改善している指標は2指標、現状維持又は未改善指標は5指標でした。

● ひとつくり

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
1) 「たべる」を楽しむ (2 指標)					
食育に関心を持っている人	市民	77.5%	70.3%	90%以上	△
家族の誰かと一緒に朝食をとる人	子ども	90.5%	93.6%	100%に近づける	○
2) 「たべる」を知る (3 指標)					
栄養成分表示のお店	登録数	53 件 (平成 22 年 9 月)	57 件 (平成 28 年 7 月)	増加	◎
おいしい空気の施設(旧空気もおいしいお店)		55 件 (平成 22 年 9 月)	127 件 (平成 28 年 7 月)		◎
食材を選ぶときに、表示等の安全について意識する人	市民	54.3%	62.1%	増加	◎
3) 「たべる」を身につける (3 指標)					
毎日朝食をとる人	市民	81.7%	83.2%	90%以上	○
	子ども	90.1%	93.6%	100%に近づける	○
食事バランスガイドを参考にしたい人	市民	49.2%	81.2%	60%以上	◎
生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人	市民	51.6%	65.1%	増加	◎

● まちづくり

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
4) 「たべる」でふれあう (2 指標)					
「食」のイベントへの参加	市民	23.0%	23.7%	増加	△
「食」のボランティア育成 食生活改善推進員	市民	183 人 (平成 22 年 4 月)	118 人 (平成 28 年 4 月)	10%増	△
5) 「たべる」を伝える (3 指標)					
「食」に関する観光イベントの 情報発信	発信数	12 回	12 回 (平成 27 年度末)	増加	△
年間に行う行事食の回数 (一世帯)	市民	6.0 回	5.0 回	増加	△
小樽を代表する食品や郷土料 理を知っている人	市民	73.0%	80.5%	増加	◎

直近値の出典

平成 28 年度小樽市子ども食育アンケート調査・第 2 次健康おたる 21 中間評価アンケート調査結果及び各部食育関連事業調べ

(2) ひとつくりの指標達成状況

1) 「たべる」を楽しむ・・・2指標の達成状況

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
食育に関心を持っている人	市民	77.5%	70.3%	90%以上	△
家族の誰かと一緒に朝食をとる人	子ども	90.5%	93.6%	100%に 近づける	○

目標指標－1 「食育に関心を持っている人」の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
食育に関心を持っている人	市民	77.5%	70.3%	90%以上	△
上記「市民」の構成内訳	高校生	61.2%	61.4%		△
	成人	86.0%	76.1%		△

目標指標の「食育に関心を持っている人」の割合は、初期値より減少している。

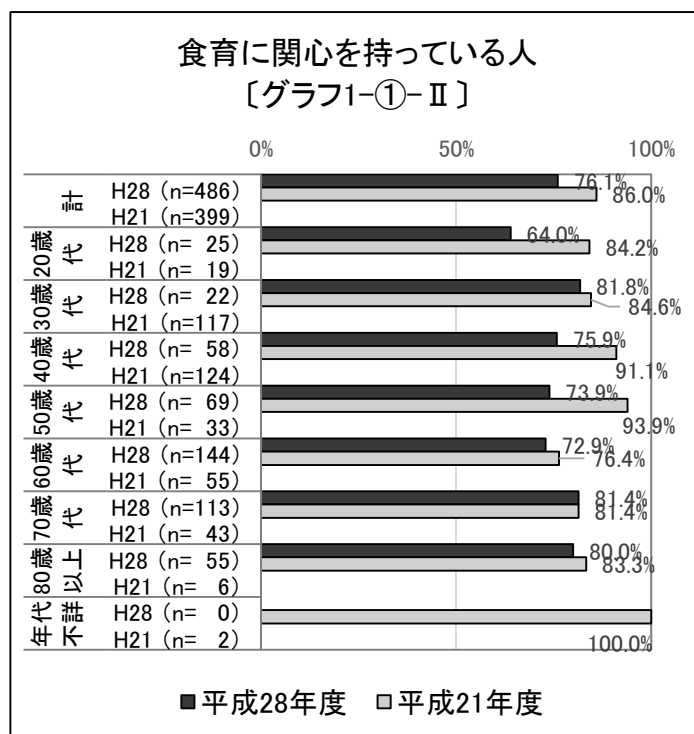
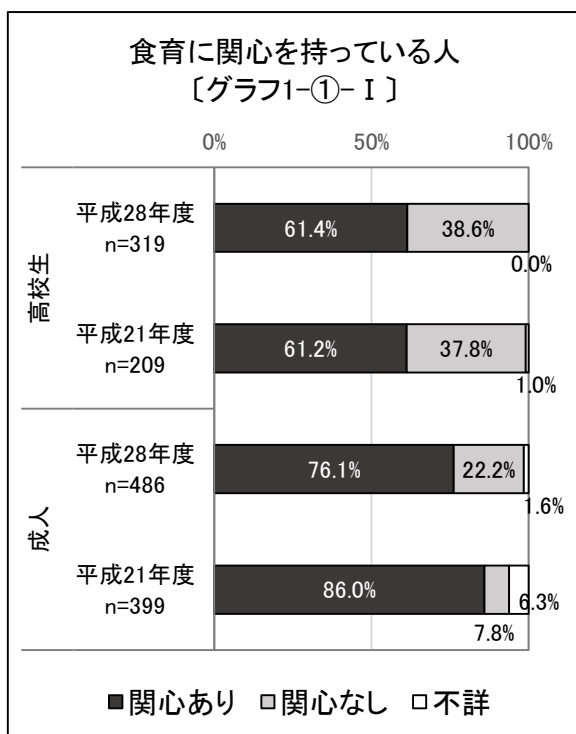
回答者の構成が高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

食育に関心を持っている高校生の割合は、初期値 61.2%から直近値 61.4%と 0.2 ポイントしか増加していないため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

食育に関心を持っている成人の割合は、初期値 86.0%から直近値 76.1%に 3.9 ポイント減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

〔グラフ 1-①-I〕

成人の年代別比較グラフでは、20 歳代、40 歳代、50 歳代の食育に関心を持っている人の割合が初期値よりそれぞれ 20.2 ポイント、15.2 ポイント、20.0 ポイント低下している。 〔グラフ 1-①-II〕



初期値（平成 21 年度調査結果）の成人回答者の年齢区分の特徴として

- ・ 20 代の 73. 7%（14 人/19 人）が保育施設・幼稚園児の親
- ・ 30 代の 95. 7%（112 人/117 人）が保育施設・幼稚園児から中学生までの親
- ・ 40 代の 87. 9%（109 人/124 人）が保育施設・幼稚園児から中学生までの親
- ・ 50 代の 15. 2%（5 人/33 人）が小・中学生の親

幼児から中学生までの子どもを持つ親が、全体の 60. 2%（240 人/399 人）を占めていたことから、平成 28 年度中間評価アンケート調査回答者とは単順に比較できない一面もある。

計画の進捗状況の把握の一助を行った就学前の児の養育者を対象とした平成 24 年度就学前食育アンケート調査※4時の結果と比較すると（40 代までの者の比較）

平成 21 年度就学前児童の養育者の食育に関心ありの者の割合→85. 5%（94 人/110 人）

平成 24 年度就学前児童の養育者の食育に関心ありの者の割合→85. 7%（1585 人/1849 人）

であり、就学前の子どもの養育者の食育への関心度は、この 3 年間は、ほぼ変化がなく、85%以上を維持していた。

※4 平成 24 年度就学前食育アンケート調査

小樽市食育推進計画に係る就学前児童のいる家庭への意識調査

目標指標－２ 「家族の誰かと一緒に朝食をとる子ども」の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
家族の誰かと一緒に朝食をとる人	子ども	90.5%	93.6%	100%に 近づける	○
上記「子ども」の構成内訳	幼児	90.0%	93.6%		○
	小・中学生	92.3%	—		—

目標指標の「家族の誰かと一緒に朝食をとる子ども」の割合は、初期値より増加している。

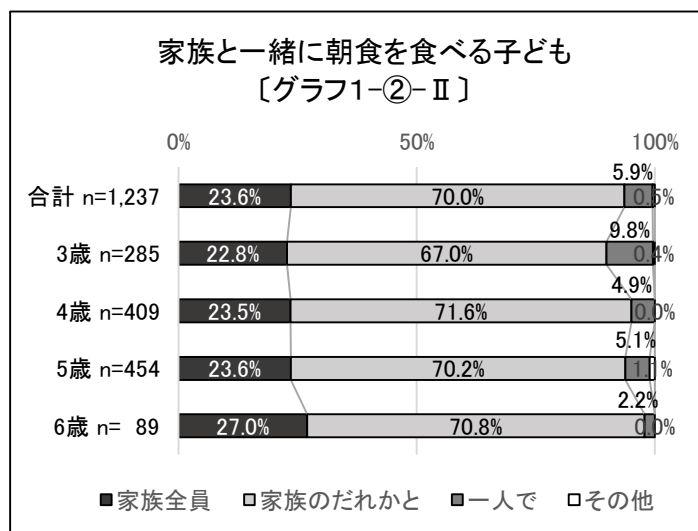
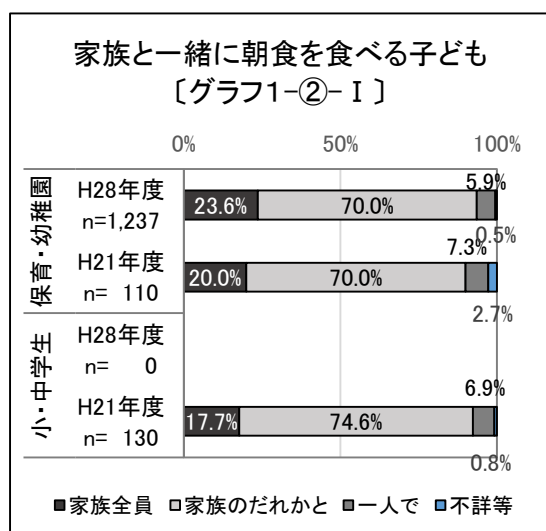
初期値の回答者の構成が幼児（保育施設・幼稚園）のいる家庭及び小・中学生のいる家庭の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

家族の誰かと一緒に朝食をとる幼児の割合は、家族全員で食べる又は家族の誰かと朝食をとると回答した者の割合であり、初期値 90.0%から直近値 93.6%に 3.6 ポイント増加しているため、達成状況は「○：改善」とした。

家族の誰かと一緒に朝食をとる小・中学生の割合は、今回調査を行わず、比較ができないため、達成状況は「－：評価できず」とした。

幼児のいる家庭の回答では、家族全員で朝食をとると回答したものが、初期値 20.0%から直近値 23.6%に 3.6 ポイント増加し、幼児一人で朝食をとると回答したものが、初期値 7.3%から直近値 5.9%に 1.4 ポイント減少している。〔グラフ 1-②-I〕

また、直近値では、年齢が上がるにつれて、幼児一人で朝食をとる割合は減少し、6 歳児では、97.8%の子どもが家族と一緒に朝食を食べている。〔グラフ 1-②-II〕



2)「たべる」を知る・・・3指標の達成状況

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
栄養成分表示のお店	登録数	53 件 (平成 22 年 9 月)	57 件 (平成 28 年 7 月)	増加	◎
おいしい空気の施設（旧空気も おいしいお店）		55 件 (平成 22 年 9 月)	127 件 (平成 28 年 7 月)		◎
食材を選ぶときに、表示等の安全について意識する人	市民	54.3%	62.1%	増加	◎

目標指標－1、2 「栄養成分表示のお店」「おいしい空気の施設」

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
栄養成分表示のお店	登録数	53 件 (平成 22 年 9 月)	57 件 (平成 28 年 7 月)	増加	◎
おいしい空気の施設（旧空気も おいしいお店）		55 件 (平成 22 年 9 月)	127 件 (平成 28 年 7 月)		◎

目標指標の「栄養成分表示のお店」は、初期値53件から直近値57件に4件増加し、目標指標の「おいしい空気の施設」は、初期値55件から直近値127件に72件増加しているため、どちらも達成状況は「◎：目標達成」とした。

目標指標－3 「食材を選ぶときに、表示等の安全について意識する人」の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
食材を選ぶときに、表示等の安全について意識する人	市民	54.3%	62.1%	増加	◎
上記「市民」の構成内訳	高校生	40.2%	44.8%		◎
	成人	61.7%	73.5%		◎

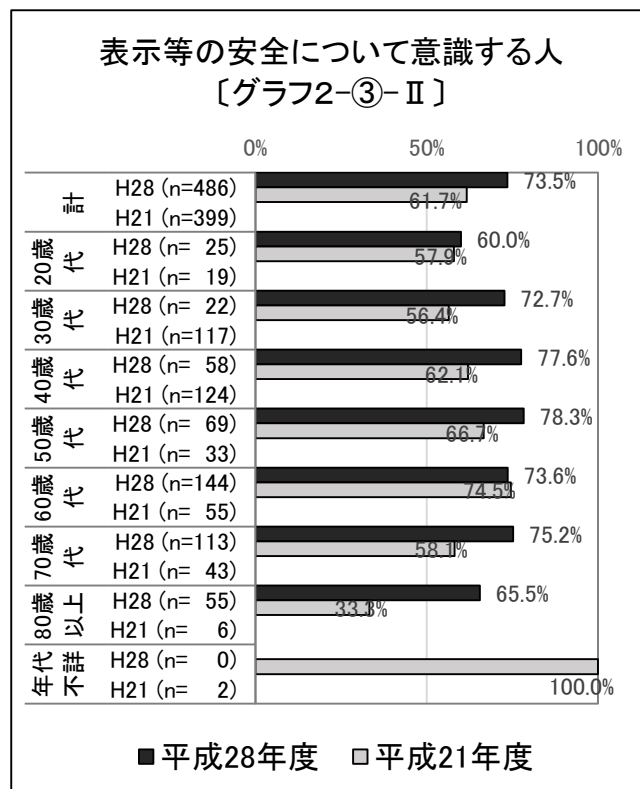
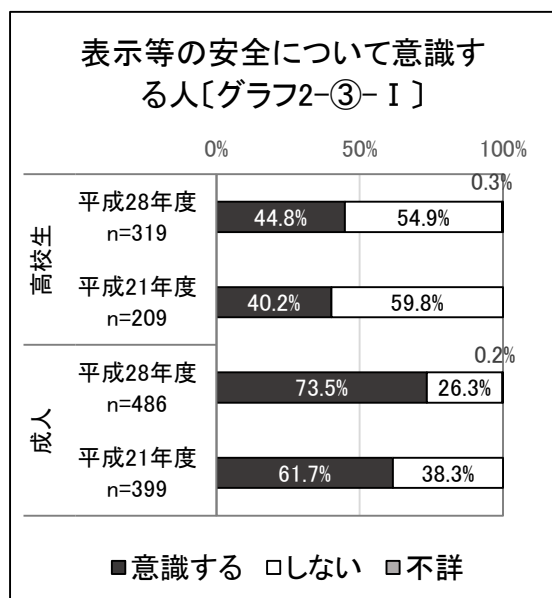
目標指標の「食材を選ぶときに、表示等の安全について意識する人」の割合は、初期値より増加している。

回答者の構成が高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

高校生では、初期値 40.2%から直近値 44.8%に 4.6 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：目標達成」とした。

成人では、初期値 61.7%から直近値 73.5%に 11.8 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：目標達成」とした。〔グラフ 2-③-I〕

成人を年代別に比較すると、60 歳代を除き、どの年代でも食材を選ぶときに、表示等の安全を意識する人が増加している。〔グラフ 2-③-II〕



3)「たべる」を身につける・・・3指標の達成状況

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
毎日朝食をとる人	市民	81.7%	83.2%	90%以上	○
	子ども	90.1%	93.6%	100%に 近づける	○
食事バランスガイドを参考に したい人	市民	49.2%	81.2%	60%以上	◎
生活習慣病予防のために食生活 改善を意識している人	市民	51.6%	65.1%	増加	◎

目標指標－1 「毎日朝食をとる」(市民)の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
毎日朝食をとる人	市民	81.7%	83.2%	90%以上	○
上記「市民」の構成内訳	高校生	88.0%	77.1%		△
	成人	78.4%	87.2%		○

目標指標の「毎日朝食をとる人」(市民)の割合は、初期値より増加している。

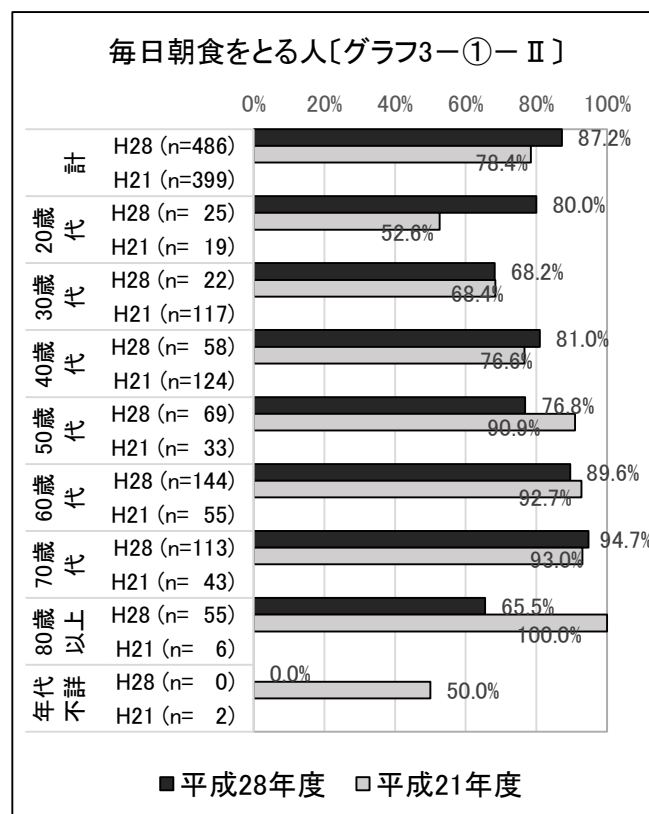
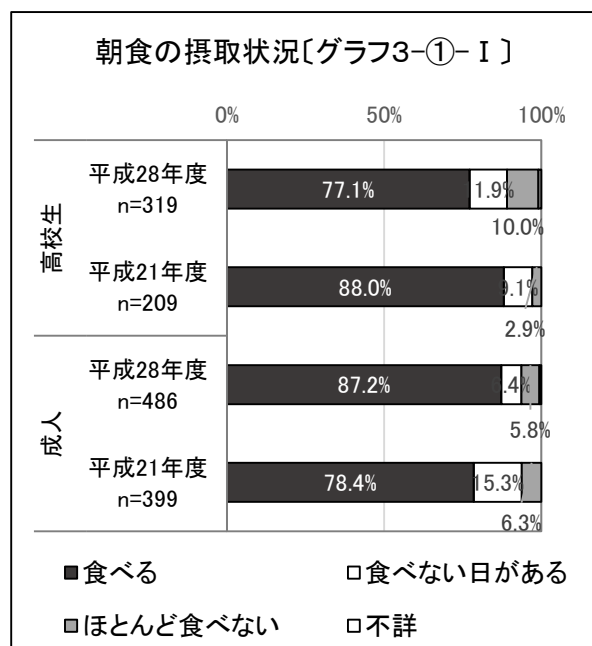
回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

高校生では、初期値 88.0%から直近値 77.1%に 10.9 ポイント減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

成人では、初期値 78.4%から直近値 87.2%に 8.8 ポイント増加しているため、達成状況は「○：改善」とした。〔グラフ 3-①-I〕

「毎日朝食をとる人」の割合を年代別に初期値と直近値をグラフで表した。

〔グラフ 3-①-II〕



目標指標－1 「毎日朝食をとる」（子ども）の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
毎日朝食をとる人	子ども	90.1%	93.7%	100%に 近づく	○
上記「子ども」の構成内訳	幼児	87.3%	93.7%		○
	小・中学生	93.8%	—		—

目標指標の「毎日朝食をとる人」（子ども）の割合は、初期値より増加している。

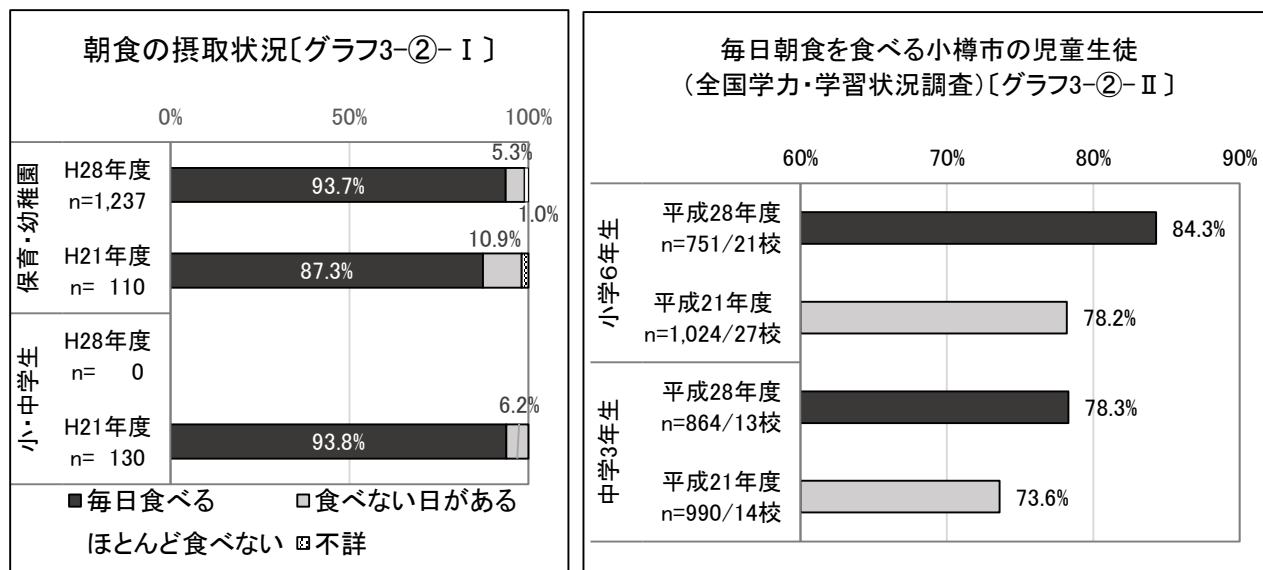
回答者の構成が、幼児（幼稚園・保育施設）のいる家庭及び小・中学生のいる家庭の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

毎日朝食をとる幼児の割合は、初期値 87.3%から直近値 93.7%に 6.4 ポイント増加しているため、達成状況は「○：改善」とした。

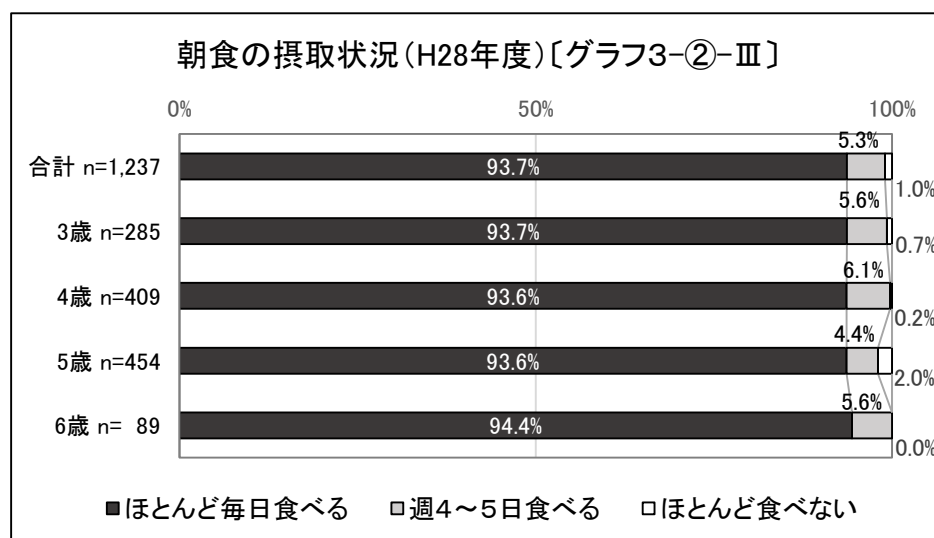
毎日朝食をとる小・中学生の割合は、今回調査を行わず、比較ができないため、達成状況は「—：評価できず」とした。〔グラフ3-②-I〕

参考値として、毎日朝食をとる小・中学生の割合を教育委員会による調査の結果と比較した場合、毎日朝食をとる小学6年生は初期値当該年度 78.2%から直近値 84.3%に

6.1 ポイント増加し、毎日朝食をとる中学3年生は初期値当該年度 73.6%から直近値 78.3%に 4.7 ポイント増加している。〔グラフ 3-②-Ⅱ〕



また、直近値の朝食の摂食状況を見ると、3歳から5歳児に、ほとんど食べないと回答している者が、0.2%~2.0%と少数ではあるが見受けられる。〔グラフ 3-②-Ⅲ〕



目標指標ー2 「食事バランスガイドを参考にしたい人」の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
食事バランスガイドを参考にしたい人	市民	49.2%	81.2%	60%以上	◎
上記「市民」の構成内訳	高校生	34.9%	82.8%		◎
	成人	56.6%	80.2%		◎

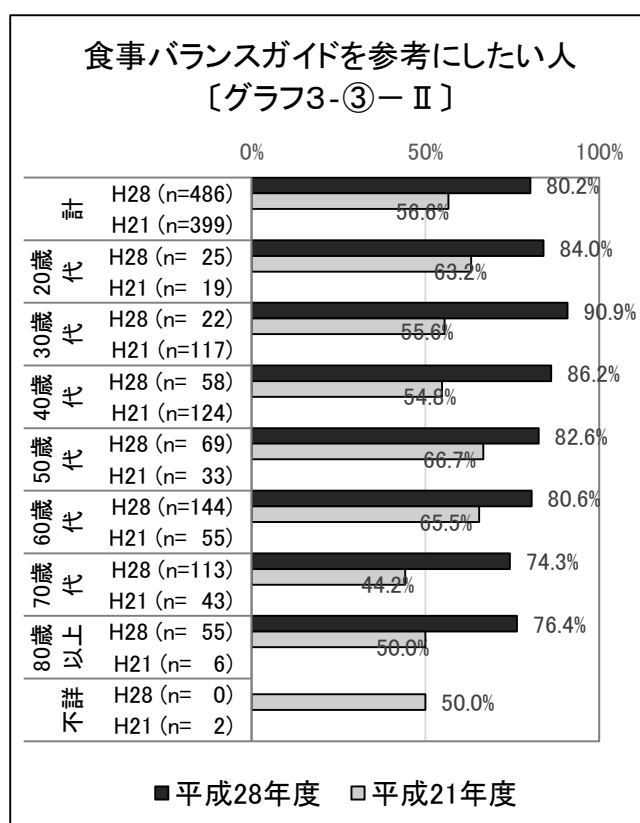
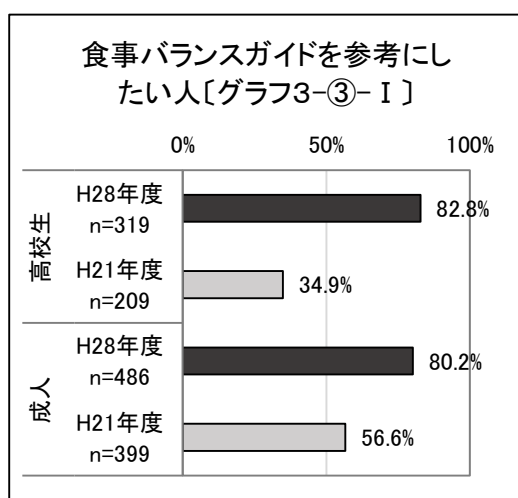
目標指標の「食事バランスガイドを参考にしたい人」の割合は、初期値より増加している。（ただし設問内容に変更あり）

回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

高校生では、初期値 34.9%から直近値 82.8%に 47.9 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。

成人では、初期値 56.6%から直近値 80.2%に 23.6 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。〔グラフ 3-③-I〕

成人の年代別では、どの年代でも、初期値と直近値間に、それぞれ 15.1 ポイントから 35.3 ポイントの増加が見られる。〔グラフ 3-③-II〕



目標指標－3 「生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人」の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人	市民	51.6%	65.1%	増加	◎
上記「市民」の構成内訳	高校生	39.7%	41.4%		◎
	成人	57.9%	80.7%		◎

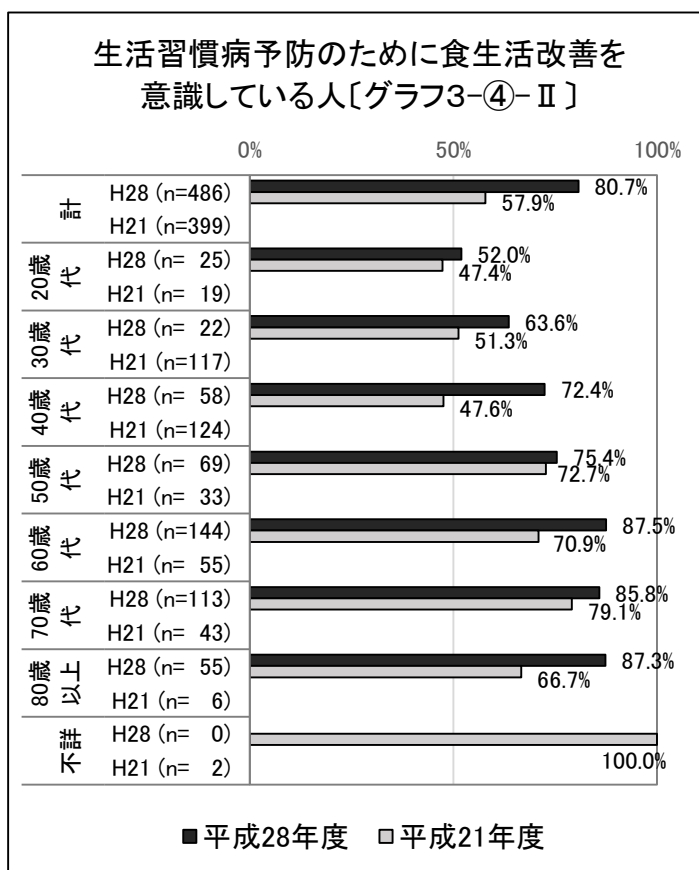
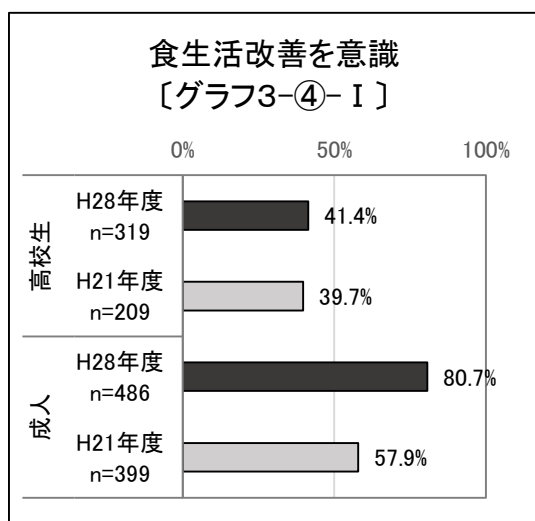
目標指標の「生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人」の割合は、初期値より増加している。

回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

高校生では、初期値 39.7%から直近値 41.4%に 1.7 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。

成人では、初期値 57.9%から、直近値 80.7%に 22.8 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。〔グラフ 3-④-I〕

成人の年代別では、全ての年代で初期値と直近値間に、それぞれ 2.7 ポイントから 24.8 ポイントの増加が見られる。〔グラフ 3-④-II〕



(3) まちづくりの指標達成状況

4) 「たべる」でふれあう・・・2指標の達成状況

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 —：評価できない

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
「食」のイベントへの参加	市民	23.0%	23.7%	増加	○
「食」のボランティア育成 食生活改善推進員	市民	183 人 (平成 22 年 4 月)	118 人 (平成 28 年 4 月)	10%増	△

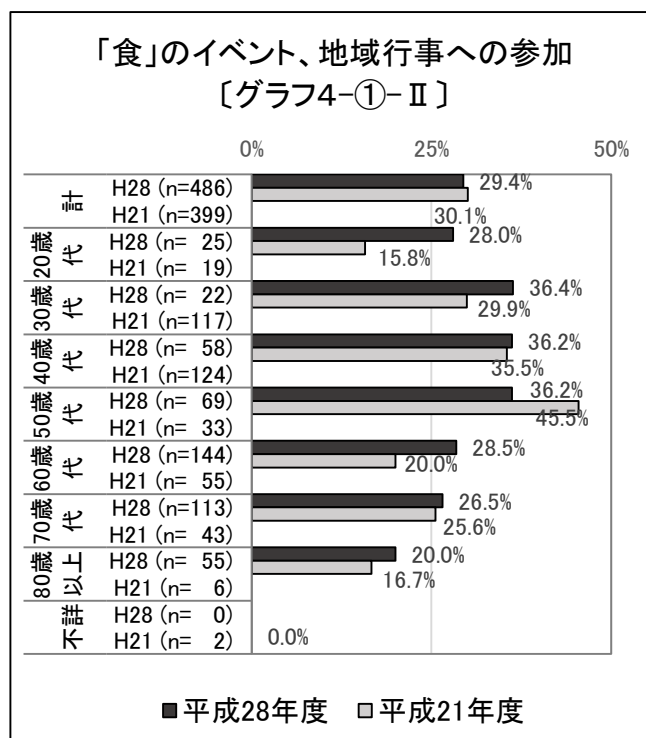
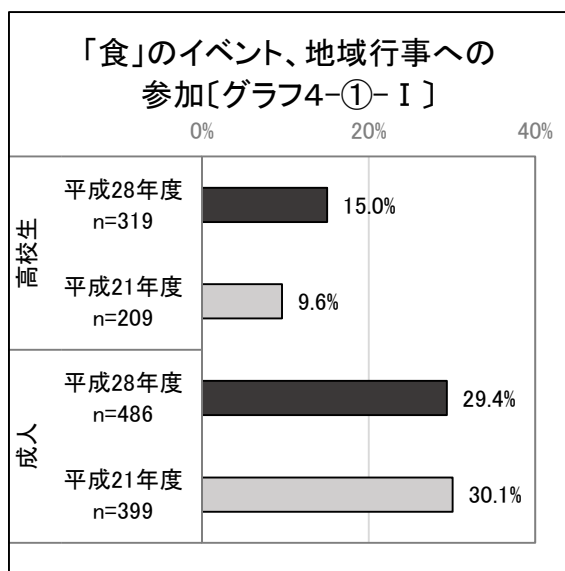
目標指標－１ 「食」のイベントへの参加の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
「食」のイベントへの参加	市民	23.0%	23.7%	増加	○
上記「市民」の構成内訳	高校生	9.6%	15.0%		◎
	成人	30.1%	29.4%		△

目標指標の「食」のイベントや地域行事への参加の割合は、初期値より微増している。回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、高校生では、初期値 9.6%から直近値 15.0%に 5.4 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。成人では、初期値 30.1%から直近値 29.4%に 0.7 ポイント減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。〔グラフ 4-①-I〕

成人の年代別では、50 歳代のみ初期値 45.5%から直近値 36.2%に 9.3 ポイントの減少が見られ、そのほかの年代は、0.7 ポイントから 12.2 ポイントの増加が見られる。

〔グラフ 4-①-II〕

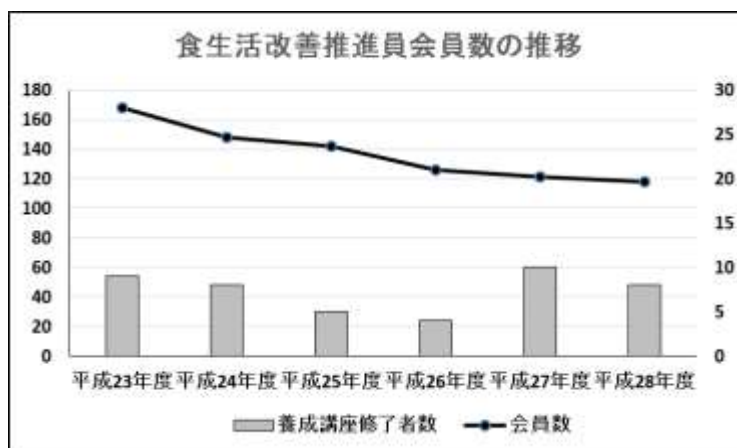


目標指標－２ 「食」のボランティア育成（食生活改善推進員）

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
「食」のボランティア育成 食生活改善推進員	市民	183人 (平成22年4月)	118人 (平成28年4月)	10%増	△

目標指標の「食」のボランティア育成については、初期値 183 人から直近値 118 人に 65 人（35.5%）減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

食生活改善推進員は、年 1 回実施している「食生活改善推進員養成講座」を修了し、会員となるが、近年、受講者数の減少や会員の高齢化、就労等により脱会する会員が増え、会員数が減少している。



5)「たべる」を伝える・・・3指標の達成状況

達成状況 ◎：目標達成 ○：改善 △：現状維持又は未改善 ー：評価できない

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
「食」に関する観光イベントの 情報発信	発信数	12 回	12 回 (平成 27 年度末)	増加	△
年間に行う行事食の回数 (一世帯)	市民	6.0 回	5.0 回	増加	△
小樽を代表する食品や郷土料理を知っている人	市民	73.0%	80.5%	増加	◎

目標指標－1 「食」に関する観光イベントの情報発信数

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
「食」に関する観光イベントの 情報発信	発信数	12 回	12 回 (平成 27 年度末)	増加	△

目標指標の「食」に関する観光イベントの情報発信数については、初期値 12 回から直近値 12 回と増減がないため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

指標となっている「おたる月間イベント情報」は、月 1 回発行され、小樽で行われるさまざまなイベントを紹介する情報発信紙である。

「食」のイベントとしては、

「食い倒れ大会」、「商店街おいしい祭り」、「おたる梅酒祭り」、「おたる祝津にしん群来祭り」、「トマト祭り」、「手宮ビアガーデン」、「おたる消費者まつり」、「北の収穫祭ワインカーニバル in おたる」、「小樽産じゃこ祭り」、「秋の美味しいもん市」、「後志収穫祭」、「ヤーコン祭」、「まちごはん」など。

平成 24 年度から観光協会へ委託していたが、平成 26 年度より再び市が発行している。ほかに、市ホームページでも四季折々のイベント情報を更新しており、「食」に関するイベントの発信を行っている。

目標指標－２ 年間に行う行事食の回数の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21 年 7 月)		直近値 (28 年 6 月)	目標値 (平成 29 年度)	達成状況
年間に行う行事食の回数 (一世帯)	市民	6.0 回	5.0 回	増加	△
上記「市民」の構成内訳	高校生	5.2 回	4.2 回		△
	成人	6.5 回	5.5 回		△

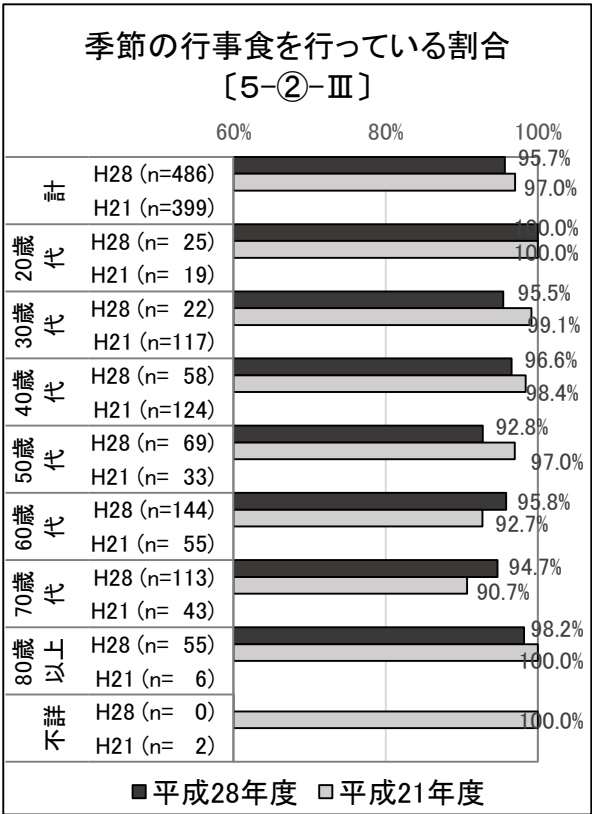
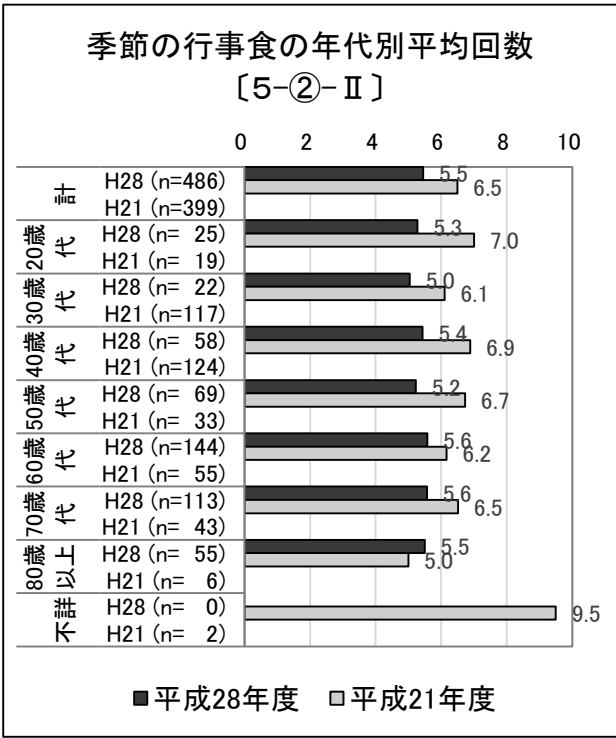
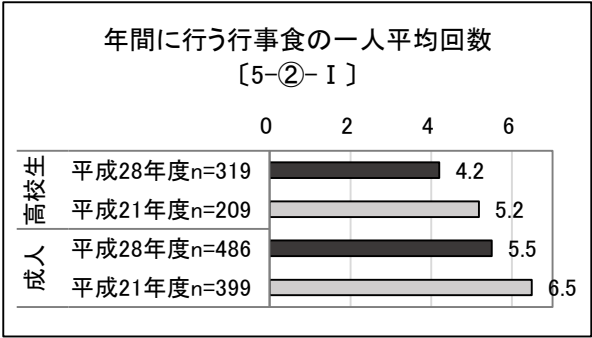
目標指標の年間に行う季節の行事食の回数は、初期値より減少している。

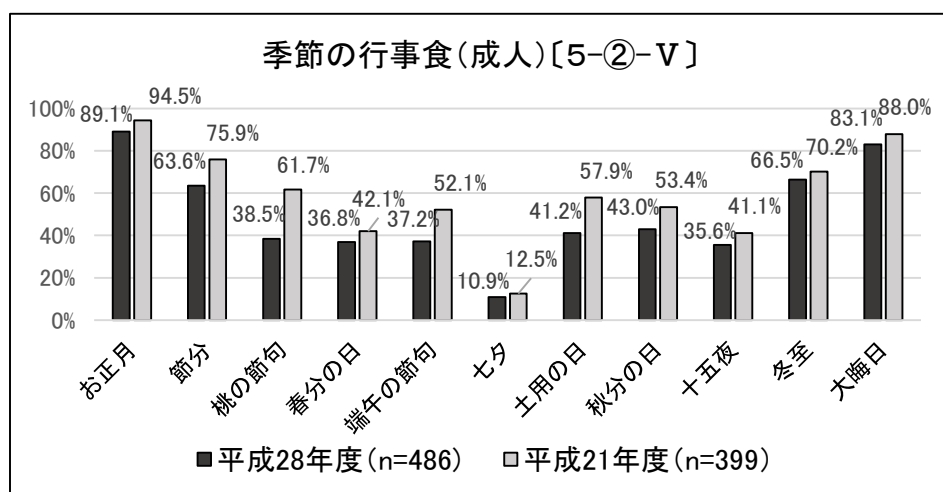
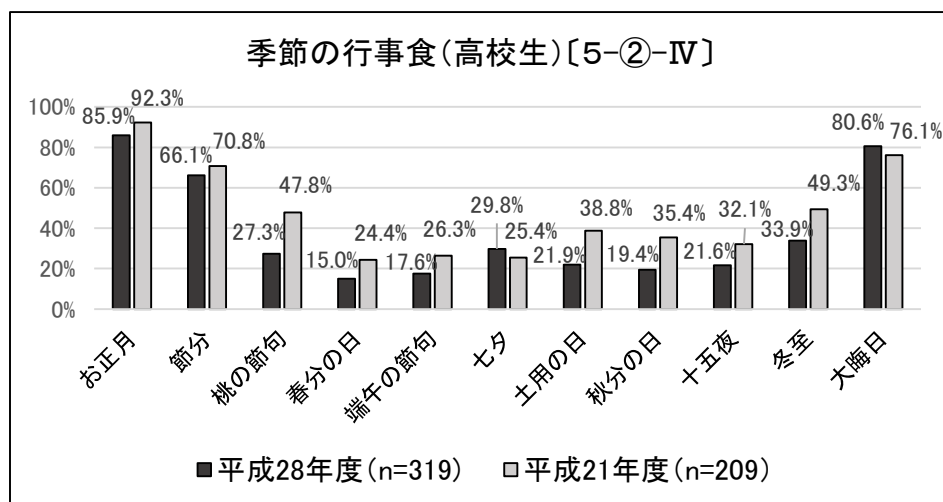
回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

高校生が年間に行う季節の行事食の回数は、初期値 5.2 回から直近値 4.2 回に 1.0 ポイント減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。

成人が年間に行う季節の行事食の回数は、初期値 6.5 回から直近値 5.5 回に 1.0 ポイント減少しているため、達成状況は「△：現状維持又は未改善」とした。〔グラフ 5-②-I〕

成人の年代別の直近値から、全ての年代で 90% 以上の人が行事食を行い、年平均 5 回の行事食を行っていることがわかる。〔グラフ 5-②-II・III〕





目標指標－３ 小樽を代表する食品や郷土料理を知っている人の詳細

目標指標	計画策定時の初期値 (21年7月)		直近値 (28年6月)	目標値 (平成29年度)	達成状況
小樽を代表する食品や郷土料理を知っている人	市民	73.0%	80.5%	増加	◎
上記「市民」の構成内訳	高校生	78.5%	86.8%		◎
	成人	70.2%	76.3%		◎

目標指標の小樽を代表する食品や郷土料理を知っている人の割合は、初期値より増加している。

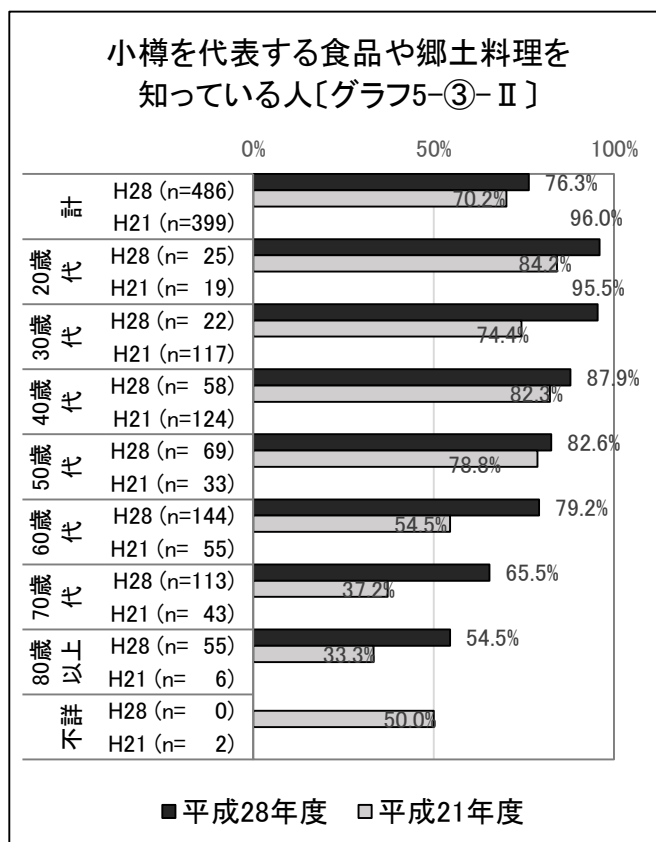
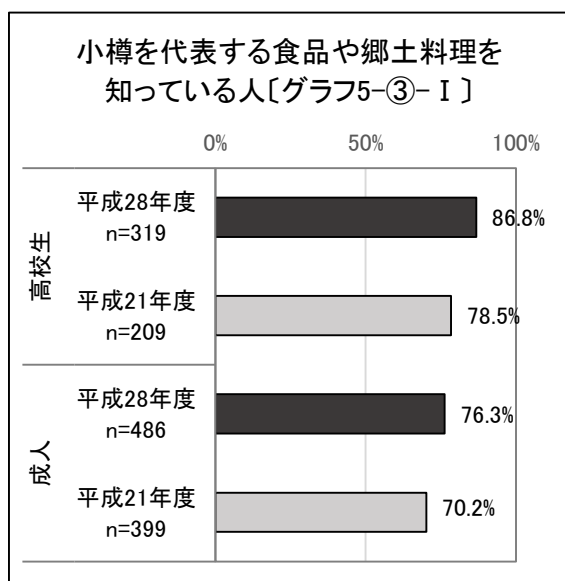
回答者の構成が、高校生及び成人の合算値であるため、それぞれの構成区分ごとに初期値と直近値を比較すると、

小樽を代表する食品や郷土料理を知っている高校生は、初期値 78.5%から直近値 86.8%に 8.3 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。

小樽を代表する食品や郷土料理を知っている成人は、初期値 70.2%から直近値 76.3%

に 6.1 ポイント増加しているため、達成状況は「◎：達成」とした。〔グラフ 5-③-I〕

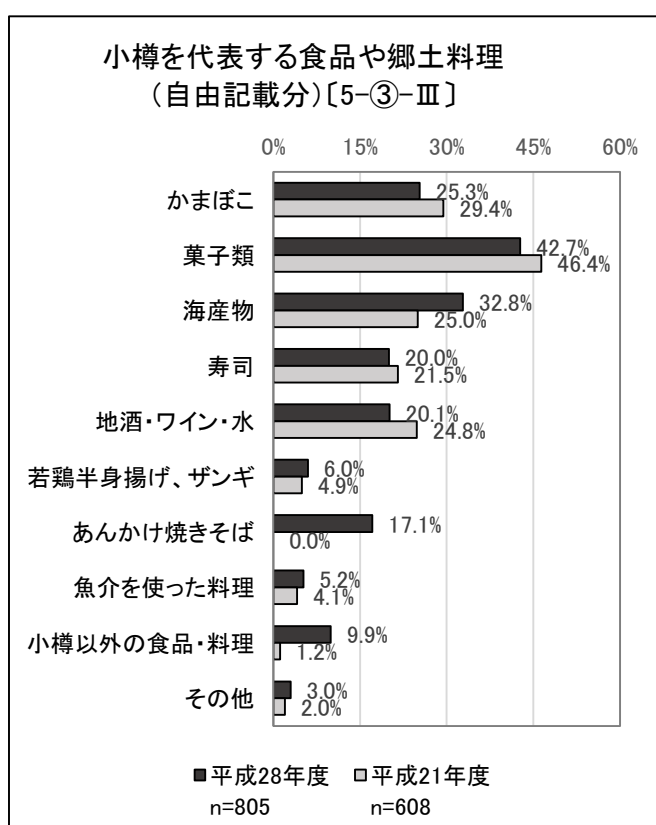
成人の年代別では、全ての年代で、初期値と直近値間にそれぞれ 3.8 ポイントから 28.3 ポイントの増加が見られ、20 歳代と 30 歳代では、95%以上の人が知っているという回答している。〔グラフ 5-③-II〕



自由記載分では、平成 21 年度、28 年度ともに菓子類が最も多い。特定の菓子店や商品名の記載もあったが、菓子類と総称して表記した。

初期値である平成 21 年度調査時には見られなかった「あんかけ焼きそば」と記載した者が 17.1%あり、新たな小樽を代表する料理としての知名度が上がっている一方で、小樽というより、後志、北海道を代表する食品や料理を挙げた者も 9.9%いた。(ジギスカン、ラーメン、石狩鍋、ガラナ、カツゲンなど)

〔グラフ 5-③-III〕



5 市と関係団体の取組

(1) ひとつづくりに関する取組

ひとつづくり (3つの目標)

「たべる」を楽しむ 「食」を通したコミュニケーションを楽しみ、豊かな人間性を育てます。
「たべる」を知る 「食」の安全・「食」の環境についての情報を発信します。
「たべる」を身につける より良い食習慣の知識を広めます。

1) 「たべる」を楽しむ

① 市民の取組項目

1. 「食育」への関心を高める
2. 朝食は家族と食べる
3. 食育関係事業に参加する
4. プロの料理から学ぶ

② 取組結果

子どもの基本的な食生活習慣を形成するために朝食をとることや「早寝早起き朝ごはん」運動の実践等、各関係機関・団体で普及啓発活動を実施していた。

また、料理教室や親子料理教室の開催等を通じて食育の重要性や適切な栄養管理に関する知識等を啓発する取組があった。

市の取組では計画策定後、項目数や実施回数の増加が見られた。関係団体の取組では、取組数はやや減少傾向ではあったが、内容としては、プロの料理人、父母、地域の方などを交えての活動もあり、広がりが感じられる。

③ 市の取組事例

保健所健康増進課

- ・おやこの食育（料理教室）
- ・キッズクッキング（幼児編・学童編）
- ・プロから学ぶ食育講座

福祉部子育て支援課

- ・はつらつ子育て講座
- ・保育所入所児童の調理体験

④ 関係団体の取組事例

小樽消費者協会

- ・北電料理教室（お正月料理）
- ・コープさっぽろ食べるたいせつフェスティバル
- ・男塾そば打ち

- ・お漬物づくりのプロから塩分控えめプロ直伝の技を教わる

小樽食生活改善協議会

- ・おやこの食育教室
- ・ヘルスマイト生涯学習講座

小樽市父母と教師の会連合会

- ・プロの料理人による朝ごはん教室の開催（PTA 主催）

民間保育協議会

- ・調理体験
- ・買い物体験
- ・春の自然からふきのとう、よもぎ、笹たけ等の採取
- ・戸外での食事体験
- ・魚介類（鮭、ほっけ、さば、いか）の解体見学
- ・懇談会で園児の調理したものの試食会

私立幼稚園連合会

- ・調理体験
- ・食を楽しむ給食
- ・手づくりランチ隊による給食
- ・園庭での魚焼き（地域住民が釣った魚を提供）
- ・お母さんの手作りお弁当を喜んで食べ、感謝する

小樽市校長会

- ・楽しい給食、残さず食べる・食事の献立づくり・調理実習
- ・早寝早起き朝ご飯運動
- ・料理教室などへの参加呼びかけ 料理教室の実施
- ・栄養教諭の派遣

2)「たべる」を知る

① 市民の取組項目

1. 食品表示を意識する
2. 栄養成分表示店やおいしい空気の施設の利用を意識する
3. 作物づくりを通して農業への理解を深める
4. 「食」の安全・「食」環境について意識する

② 取組結果

「食」の安全や「食」の環境についての情報発信や学習会等の実施。

また、地域の生産物による体験活動や生産・流通現場への見学等の取組があった。

市の取組は、取組数、人数ともに多く、継続して実施されていた。関係団体の取組でも、取組数は安定して維持されており、内容としては幼児や小学生の取組が充実していた。小学校では栄養教諭による「食育教室」が実施されている。食品衛生協会の取組は、この分野に集中して実施されている。

③ 市の取組事例

保健所健康増進課

- ・「栄養成分表示の店」登録
- ・給食施設栄養管理指導
- ・食育だよりの発行（年２回）

保健所生活衛生課

- ・給食施設への監視指導
- ・食品営業施設への監視指導
- ・食品衛生及び食中毒予防講習会
- ・食中毒等事故防止街頭 PR
- ・食品衛生情報の発信
- ・きのこ展の開催
- ・食品相談受付

福祉部子育て支援課

- ・保育所入所児童の栽培体験
- ・安全な食材を使用した給食の提供

産業港湾部農政課

- ・市民体験農園

④ 関係団体の取組事例

小樽消費者協会

- ・プロに学ぶ家庭菜園
- ・食の安全 食品表示を学ぶセミナー
- ・夏休み親子体験教室
- ・ブロッコリー、アスパラガス残留農薬検査
- ・バス見学会 バター作りほか
- ・ＪＡ新おたる 生産者との意見交換
- ・新しいアイディア漬物
- ・消費者月間、消費者の安全安心
- ・道産牛乳を利用した料理教室
- ・「食品表示と偽装について」の講演会開催
- ・道産米利用した料理作り
- ・「後志の食と未来」～地産地消の輪を広げましょう～の講演会開催
- ・「薬とサプリメント」～漢方に学ぶ
- ・食育月間パネル展の開催（市役所渡り廊下 6/15～26）

小樽市食品衛生協会

- ・食品衛生指導員による食品営業施設への巡回指導
- ・食品衛生責任者講習会の開催
- ・食中毒防止街頭 PR
- ・食中毒警報発令時の周知伝達
- ・食品営業者・従業員への健康保持増進（検便の推進）

- ・優秀優良な施設の個人を表彰
- ・会誌の発行
- ・食品衛生指導員研修会
- ・食品衛生懇談会
- ・食品衛生指導員養成講習会（隔年実施）
- ・ノロウィルス予防研修会

小樽食生活改善協議会

- ・見学会

民間保育協議会

- ・作物づくり・収穫体験
- ・収穫した作物で調理保育
- ・毎日の給食の展示
- ・毎日使用する野菜の展示
- ・個々におけるアレルギー食の献立作成と調理
- ・献立表と給食だよりの作成
- ・写真つき献立表の掲示
- ・給食試食会

私立幼稚園連合会

- ・作物づくり・収穫体験
- ・生ごみの肥料化の取組
- ・給食の食材を知る
- ・個々におけるアレルギー食の献立作成と調理
- ・食の安全・安心を意識した手作り給食

小樽市校長会

- ・栄養教諭による年間を通した食育の授業
- ・学級菜園での野菜づくり、青果市場の見学
- ・食品工場などへの見学
- ・食品表示についての学習
- ・野菜栽培（技術科）
- ・「食」についての学習（家庭科）

新おたる農協組合

- ・イエスクリーンへの取組
- ・出荷前の防除履歴への記帳
- ・共選品目の残留農薬検査

3)「たべる」を身につける・・・3指標の達成状況

① 市民の取組項目

1. 乳幼児期から正しい生活習慣を身につける
2. 毎朝食を取るよう努める

3. バランスの取れた食事を心掛ける
4. 生活習慣病やメタボリックシンドロームについて理解する
5. 自ら食生活の改善に取り組む
6. 中食やコンビニエンスストアの上手な利用を図る
7. 「食」に関する感謝やマナーを身につける（乳幼児・学童）
8. 食育ボランティアリーダーの活用

② 取組結果

市民が生涯健康で暮らす基本となる良好な食生活や食習慣の知識を広めるため、「食事バランスガイド」等を活用した取組や「早寝早起き朝ごはん」運動の実践、食事マナーの指導等、各関係機関・団体で普及啓発する取組があった。

市の取組では、子どもを対象とするものが多く、実施数は安定している。関係団体の取組でも、小学校での取組数が最も多く、次に幼稚園、保育施設などである。取組項目数は年によりやや変動はあるがほぼ維持され、栄養士会や食生活改善協議会などによる地域住民へ向けての取組も多く見られた。

③ 市の取組事例

保健所健康増進課

- ・ 離乳食講習会
- ・ 母親・両親教室（歯ッピークッキング）
- ・ 食育指導（10か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診）
- ・ カンガルークラブ
- ・ 特定保健指導（初回面接終了者）
- ・ 小樽市食生活改善推進員養成講座の実施
- ・ メタボ教室
- ・ 生活習慣病予防ミニ講座
- ・ 「いい歯で食育」の発行（年2回）
- ・ 保育施設児の歯磨き指導

福祉部子育て支援課

- ・ 保育所入所児童に対する食事のマナー等指導

教育部学校給食センター

- ・ 教科時間への栄養教諭派遣
- ・ 給食だよりによる栄養成分表示
- ・ 卵アレルギー対応食・アレルギー対応用献立明細表の提供

教育部生涯学習課

- ・ 生涯学習ボランティアリーダー登録

④ 関係団体の取組事例

小樽消費者協会

- ・ 男塾料理教室
- ・ 清涼飲料を考える移動消費者教室

- ・消費者まつり ―減塩生活―
- ・楽しく保存野菜作り～冬はストーブで

小樽食生活改善協議会

- ・よい食生活を進めるための健康づくり食生活改善講習会
- ・糖尿病予防教室
- ・生涯骨太クッキング教室
- ・男性料理教室
- ・ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業
- ・低栄養・ロコモ・認知症予防教室

小樽栄養士会

- ・糖尿病食事療法講習会へ講師派遣
- ・通所型介護予防事業へ講師派遣
- ・健康づくりリーダー研修会へ講師派遣
- ・食事バランスガイドに沿った講話と調理実習の講師派遣
- ・小樽市食生活展での栄養指導
- ・市民公開講座「若さと健康は食から」
- ・健康まつり（後志リハビリテーション推進会議主催）
- ・介護食の調理実習講師

小樽市父母と教師の会連合会

- ・「早寝・早起き・朝ごはん運動」推進のための普及啓発（学校説明会・PTA 総会・保護者会等）

民間保育協議会

- ・食事のマナー等の指導
- ・クラスで盛り付け・配膳
- ・離乳食の月齢別献立表の作成
- ・ボードにて食品分け展示
- ・食に関する絵本の読み聞かせ
- ・レストランごっこで食の楽しさ、外食の知識を学ぶ

私立幼稚園連合会

- ・食への感謝の念を育む学習
- ・栄養について学ぶ
- ・収穫した作物で調理体験
- ・お弁当・給食の実施
- ・ホテルテーブルマナー体験
- ・歯科健診・歯磨き指導
- ・身長・体重測定
- ・内科健診
- ・トイレ・手洗い指導
- ・食のマナーを身につける
- ・早寝、早起きの習慣を各家庭へ呼びかける
- ・食わず嫌いをなくす工夫

小樽市校長会

- ・給食の配膳当番・後片付け
- ・規則正しい生活習慣の確立（中学校は家庭科）
- ・調理実習、給食指導・食品の栄養の特徴・食品の組み合わせ（家庭科）
- ・カルビー食育教室（運動の継続、中食やコンビニの上手な利用法）
- ・身長・体重の比較 健康診断
- ・食事前後の挨拶
- ・バランスのとれた食事（家庭科）
- ・生活習慣病（家庭科・保健体育）
- ・食のマナー（毎日・家庭科）

(2) まちづくりに関する取組

まちづくり (2つの目標)

「たべる」でふれあう	「食」を通じ、地域での交流を進めます。
「たべる」を伝える	地域における「食」の資源を大切に、次世代へ食文化を伝えていきます。

4) 「たべる」でふれあう

① 市民の取組項目

1. 「食」に関するイベントに参加するように努める
2. 食生活改善推進員などの活用による地域交流を図る

② 取組結果

地域での食のイベントへの参加や地域住民との交流を目的とした取組があった。また、食育を推進するための組織づくりなどの取組もあった。

市の取組は、保育所の地域活動事業や保健所の成人向けの講座などで、取組数はやや増加している。民間団体の取組としては、総数は少ないものの増加傾向を示している。内容としては大きなイベントだけでなく、保育所や幼稚園が地域との交流を図るイベントも見られた。

③ 市の取組事例

保健所健康増進課

- ・食生活展の開催（年1回）
- ・高齢者食生活改善普及講座
- ・ヘルスメイト生涯学習講座
- ・ヘルシークッキング

福祉部子育て支援課

- ・日々の保育所生活を通じて実施

④ 関係団体の取組事例

小樽消費者協会

- ・JA 新おたる農協 豚肉試食会
- ・余市の山で山菜採り
- ・鮭を残さず調理するには？（講師：小樽市漁協婦人部）

小樽食生活改善協議会

- ・高齢者食生活改善普及講座

小樽市父母と教師の会連合会

- ・PTA の取組行事開催・参加（PTA バザー、給食試食会等）
- ・各関係機関への委員派遣（学校給食運営委員会、共同調理場運営委員会、食育推進連絡会等）

民間保育協議会

- ・市場見学
- ・夏祭り（地域との交流）
- ・焼きいもパーティ（老人クラブ）
- ・祖父母との交流（調理、会食など）

私立幼稚園連合会

- ・お泊り会（夕食づくり）
- ・保護者主催の食事会
- ・落ち葉を集めて焼きいも作り
- ・さくらんぼ狩り、いちご狩り、ぶどう狩りへの参加
- ・収穫感謝祭で親に作ってもらったぶた汁やシチューを食べる

新おたる農協

- ・各イベントへの出展（おたるワインカーニバル等）

小樽市漁組

- ・しゃこ祭・にしん祭の開催参加

5)「たべる」を伝える

① 市民の取組項目

1. 伝統的な日本型食生活を意識する
2. 旬の食材の利用を意識する
3. 郷土料理や行事食を楽しむ
4. 小樽産の食品や料理を楽しむ

② 取組結果

地域での食のイベントの情報発信や地域の生産物による料理講習会等の取組があった。市の取組としては、保育所の地域活動事業の中での実施、観光情報の発信など継続して実施しているもののほか、新規事業として行事食紹介や道産食材を使ったレシピ紹介など加わり、取組数は維持されていた。市と民間団体の取組として、保育施設や幼稚園、学校では旬のものを取り入れた給食の提供や、食文化を伝える取組があった。民間団体の取組数は、やや増加した。

③ 市の取組事例

保健所健康増進課

- ・行事食の紹介
- ・北海道産の食材を使ったレシピの紹介

福祉部子育て支援課

- ・保育所においてももちつき会・焼き芋会・豆まきなど年中行事を実施

教育部学校給食センター

- ・節分豆など行事食の提供
- ・「おたる・後志を味わおう」として、宗八ガレイやベビーホタテなどの地場産品を提供

産業港湾部観光振興室

- ・食に関する観光イベントの情報発信

④ 関係団体の取組事例

小樽消費者協会

- ・牛乳料理講習会 ・米料理講習会
- ・試買調査
- ・消費者まつり
- ・地産地消による産直（銀山地区）米の取扱
- ・地場産加工食品（トマトジュース、ジャム、手作り味噌等）の取扱

小樽食生活改善協議会

- ・小樽市食生活展
- ・料理研究発表会

小樽機船漁業協同組合

- ・食クラフェスタ参画
- ・JR 小樽駅常設販売
- ・小樽産ホッケの料理考案
- ・宗八カレイの利用拡大に向けスリ身加工製造
- ・小樽ピッキングセンター設立 ・小樽産業クラスター協議会設立

民間保育協議会

- ・季節の食材を取り入れた献立
- ・さんまの1本焼き等
- ・いも煮会
- ・もちつき会、豆まき、春・秋のお茶会（ひな祭り会、十五夜）

私立幼稚園連合会

- ・親子ジンギスカンの会
- ・おもちつき
- ・山ぶどう、栗などの旬の食材を自然から収穫し、試食してみる
- ・味噌づくり
- ・おむすびの日（毎週水曜日）におむすびとみそ汁を食べる

小樽市校長会

- ・学校給食の献立（石狩鍋）
- ・節分 生活科で豆まき体験 お月見ゼリー（給食）
- ・職人による実演・工場見学（試食）
- ・キャリア教育

小樽市漁組

- ・ホームページによる情報発信（旬のお魚更新情報・小樽産鮮魚介類の紹介・小樽海鮮うまいもん紹介）
- ・しゃこ祭等での情報発信 ・浜の母さん料理等食文化の発信
- ・地産水産物のレシピ開発
- ・漁師の出前授業の開催（朝とれた魚等）
- ・幼児・生徒向けのイベント企画・立案

6 まとめ

国は、平成１８年度から２２年度までの第１次計画で食育の周知、平成２３年度から２７年度の第２次食育推進基本計画では食育の実践をコンセプトとし、重点課題として①生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進 ②生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進 ③家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進を掲げました。

平成２８年度からの第３次食育推進基本計画では、食育の実践がしやすい社会環境づくりにも目を向け、重点課題を①若い世代を中心とした食育の推進 ②多様な暮らしに対応した食育の推進 ③健康寿命の延伸につながる食育の推進 ④食の循環や環境を意識した食育の推進 ⑤食文化の継承に向けた食育の推進としています。

本市の食育推進計画は、平成２３年度から２９年度まで内容の変更をしていませんが、国の動向を把握しながら、計画当初は食育の周知に努め、その後取組の充実を進めてきました。

本市の食育推進計画に掲げた目標について、平成２８年度実施の食育推進計画に関する市民アンケートの結果を見ると、「ひとづくり」についての目標では、８指標中達成したものが５指標、改善されたものが２指標となり、計画はほぼ達成できたと考えています。

「まちづくり」についての目標では、５指標中達成したものは１指標で、４指標が現状維持または未改善となりました。未改善の指標の中では、実際にはある程度推進されていても、評価指標に反映されなかったものもあり、評価指標の選択が十分ではない面がありました。

取組についての把握は、民間団体と市関係部局について行ってきました。「ひとづくり」、「まちづくり」とともに、様々な取組が行われており、取組数の増加も見られましたが、全体的には７年間を通じて取組数は安定していました。取組内容としては地域の方々に向けた取組が、多くの団体で見られたことは評価に値します。

このように小樽の食育は、各分野で取組みが着実に実施されていることが確認されました。

本計画は目標を掲げ、経年的に現状把握してきたわけですが、民間団体を含めて目標達成に向けた活動を盛り上げるまでには至りませんでした。これは関連部局や推進連絡会の構成などストラクチャーの問題と、目標達成へ向けて関係団体が協力する仕掛けづくりなどのプロセスの問題に弱点があったのではないかと考えています。更に食育の概念が広く、分野によっては連携・協力が難しいこと、またそれぞ

れの所管する計画等に食育が含まれ、独自に実施している部所があることなど、様々な事情も重なりました。

今後の展開ですが、本計画は、特に健康増進計画「第2次健康おたる21」と整合を図り、「食」を通じた健康づくりができるよう支援していくための指針と位置づけられていることから、健康増進計画のネットワーク会議や評価会議に食育推進連絡会の委員が参加することで、「食」を通じた健康づくりに注力し、健康増進計画の中で食育を推進していくことが現実的であると判断しました。

本計画の健康づくり以外の分野についても、幼児や小・中学生の食育、食の安全については、それぞれの部局が所管する計画や国の指針があり、今後も変わらず推進されていくものです。

農水産物の地産地消などに関しては、第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョンでも食育の推進が謳われ、「食」のイベントに関しては、現在でもいろいろなメディアを通じて情報発信されているだけでなく、後志圏域の活動も小樽市内で行われるなど、後志圏域で最も多くの人口を擁する小樽市は、イベントなどに市民が参加しやすい環境となっています。

このような状況から、今後も各分野で食育の継続が図られると考え、本計画の後継計画としての総合的な食育推進計画は策定せず、健康増進計画の中で、健康に特化した食育の推進を図ることとします。

資料編

I) 小樽市食育推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 小樽市における食育に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、小樽市食育推進連絡会（以下単に「連絡会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 連絡会は、小樽市食育推進計画の策定、推進状況の把握その他食育に関する施策の推進に係る事務を行うものとする。

(組織)

第3条 連絡会は、委員14人以内をもって組織する。

2 委員は、市民、食育の推進に関係する団体の代表者その他食育の推進に适当と認められる者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第4条 連絡会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 連絡会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、連絡会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長の定める委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 連絡会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認められるときは、会議に関係者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者から資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 連絡会の庶務は、保健所健康増進課において行う。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、連絡会の運営に関し必要な事項は、委員長が連絡会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年7月23日から施行する。

Ⅱ) 小樽市食育推進連絡会委員

平成22年10月1日～平成24年9月30日

No.	氏 名	所 属	備 考
1	いなば えつこ 稲葉 悦子	市民公募	
2	うるしや ただし 漆谷 匡俊	小樽市食品衛生協会	
3	かつまた のぶし 勝俣 信俊	小樽市父母と教師の会連合会	
4	かみいずみ もとむ 上泉 求	小樽市校長会	
5	きや のぶこ 木谷 信子	学識経験者	委員長
6	くぼ やすのり 久保 康典	新おたる農業協同組合(24年2月1日解職)	
	さいとう ひでき 斉藤 秀喜	新おたる農業協同組合(24年2月1日委嘱)	
7	ささき まい 佐々木 舞	北海道栄養士会後志支部小樽栄養士会	
8	しまの ちえこ 島野 千恵子	小樽食生活改善協議会	
9	とがし よしこ 富樫 佳子	市民公募	
10	なかやま のぼる 中山 登	小樽市漁業協同組合(平成23年12月31日解職)	
	ほんごう たくや 本郷 琢也	小樽市漁業協同組合(平成24年1月1日委嘱)	
11	はやし かつのぶ 林 勝信	小樽私立幼稚園連合会	
12	ふきた ともさぶろう 吹田 友三郎	小樽市民間保育協議会	
13	ふくしま ちさこ 福島 チサ子	小樽消費者協会	
14	ほんま たつひろ 本間 達洋	小樽機船漁業協同組合(平成23年5月6日解職)	
	かわしま ひろゆき 川島 廣幸	小樽機船漁業協同組合(平成23年6月6日委嘱)	

平成24年10月1日～平成26年9月30日

No.	氏 名	所 属	備 考
1	いなば えつこ 稲葉 悦子	市民公募	
2	いわい り えこ 岩井 理栄子	小樽市父母と教師の会連合会	
3	うるしや ただとし 漆谷 匡俊	小樽市食品衛生協会	
4	おおしま かつよ 大島 克予	小樽消費者協会	
5	おぬき るみこ 小貫 留美子	北海道栄養士会後志支部小樽栄養士会	
6	かわしま ひろゆき 川島 廣幸	小樽機船漁業協同組合	
7	きや のぶこ 木谷 信子	学識経験者	委員長
8	さいとう ひでき 斉藤 秀喜	新おたる農業協同組合	
9	すずむら あやこ 鈴村 綾子	小樽食生活改善協議会	
10	はやし かつのぶ 林 勝信	小樽私立幼稚園連合会	
11	ふきた ともさぶろう 吹田 友三郎	小樽市民間保育協議会	
12	ほんごう たくや 本郷 琢也	小樽市漁業協同組合	
13	やぎ あけみ 八木 明美	市民公募	
14	よしだ しづ お 吉田 志津雄	小樽市校長会	

(五十音順 敬称略)

平成26年10月1日～平成28年9月30日

No.	氏 名	所 属	備 考
1	うるしや たたとし 漆谷 匡俊	小樽市食品衛生協会	
2	えがわ けいこ 江川 桂子	市民公募	
3	おおしま かつよ 大島 克予	小樽消費者協会(平成27年7月1日解職)	
	やまぐち ひろみ 山口 博美	小樽消費者協会(平成27年7月1日委嘱)	
4	おめき るみこ 小貫 留美子	北海道栄養士会後志支部小樽栄養士会	
5	かわしま ひろゆき 川島 廣幸	小樽機船漁業協同組合	
6	さいとう ひでき 斉藤 秀喜	新おたる農業協同組合	
7	すがわらやすてる 菅原 康晃	小樽市父母と教師の会連合会	
8	すずむらあやこ 鈴村 綾子	小樽食生活改善協議会	
9	つじむら かずえ 辻村 和枝	市民公募	
10	はやし かつのぶ 林 勝信	小樽私立幼稚園連合会	
11	ふきた ともさぶろう 吹田 友三郎	小樽市民間保育協議会	
12	よしだ しづ お 吉田 志津雄	小樽市校長会(平成28年3月31日解職)	
	いむら ふみとし 井村 文俊	小樽市校長会(平成28年4月1日委嘱)	
13	ほんごう たくや 本郷 琢也	小樽市漁業協同組合(平成27年1月26日解職)	

(五十音順 敬称略)

庁内食育関係課長

市内長官関係課長		
No.	部 局	所 属
1	産業港湾部	農政課長
2		水産課長
3	福祉部	子育て支援課長
4	教育部	指導室主幹
5		学校給食センター副所長
6	保健所	生活衛生課長
7		健康増進課長
8		主幹
事務局		保健所健康増進課 歯科・栄養サブグループ

Ⅲ) 小樽市食育推進計画策定及び会議経過

日 程	内 容
平成22年 7月23日	小樽市食育推進連絡会設置要綱策定
7月29日	小樽市食育推進連絡会市民公募のための実施要領策定
8月25日	庁内食育関係課長会議
8月30、31日	市議会 正副議長 各会派説明
9月 1日	市民委員公募の告知
10月 1日	小樽市食育推進連絡会委員委嘱
10月 1日	第1回小樽市食育推進連絡会
10月29日	第2回小樽市食育推進連絡会
11月25日	第3回小樽市食育推進連絡会
平成23年 1月4日～2月2日	小樽市食育推進計画（素案）に対する市民意見の募集 （パブリックコメント手続き）
2月21日	小樽市食育推進計画策定
日 程	内 容
3月 9日	市議会厚生常任委員会報告
5月20日	第4回小樽市食育推進連絡会
平成24年 2月17日	第5回小樽市食育推進連絡会
8月 1日	市民委員公募の告知
10月 1日	小樽市食育推進連絡会委員委嘱
10月25日	第6回小樽市食育推進連絡会
10月25日	小樽市食育教材バンク開始

12月～ 平成25年3月	就学前食育アンケート調査の実施
平成25年 5月30日	小樽市食育推進計画に係る就学前児童のいる家庭への 意識調査報告書完成
6月 1日	広報おたる6月号に食育月間特集記事を掲載
11月28日	第7回小樽市食育推進連絡会
平成26年 3月 4日	平成25年度しりべし食育フォーラムにて事例発表
8月 1日	市民委員公募の告知
8月21日	第8回小樽市食育推進連絡会
10月 1日	小樽市食育推進連絡会委員委嘱
平成27年 11月 5日	第9回小樽市食育推進連絡会
平成28年 6月	小樽市食育推進計画評価アンケートの実施
平成28年 8月29日	第10回小樽市食育推進連絡会

食育評価アンケート調査結果

目 次

I 調査の概要

i) 調査の目的	42
ii) 調査対象及び調査方法等	42
iii) 調査の項目	42
iv) 回収結果	42
v) 本報告書の見方について	42

II 調査の結果

i) 子ども	44
ii) 高校生	47
iii) 成人	52

資料

アンケート調査表

i) 子どもアンケート調査票	59
ii) 高校生アンケート調査票（食育関係部分抜粋）	60
iii) 成人アンケート調査票（食育関係部分抜粋）	62

I 調査の概要

小樽市食育推進計画（平成23年度～29年度）の最終評価アンケートについては、第2次小樽市健康増進計画の中間評価に併せて市民アンケートを実施したため、以下は、そのアンケート調査結果から食生活関係部分を抜粋し、掲載している。

i) 調査の目的

本調査は、市民の健康に関する意識及び行動を把握し、既存資料とあわせて小樽市健康増進計画の見直しに反映させることを目的とする。

ii) 調査対象及び調査方法等

〔子ども〕

調査対象	小樽市内の保育所・幼稚園に通っている3歳以上の子をもつ保護者（平成28年4月2日現在）
サンプル数	1,731
調査方法	各施設に依頼し、回収
調査期間	平成28年6月15日～6月30日

〔高校生〕

調査対象	小樽市内の高校に在学中の男女
サンプル数	市内10校
調査方法	各高校に依頼し、回収
調査期間	平成28年6月14日～30日

〔成人〕

調査対象	小樽市内に居住する20歳以上の男女
サンプル数	1,900
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出（平成28年5月1日現在） 男女別・年齢別割付法
調査方法	調査対象者へ調査票を送付し、返信用封筒により回収
調査期間	平成28年6月15日～6月30日

iii) 調査の項目

〔子ども〕

回答者の属性について（2問）

食生活の実態と栄養に関する知識について（4問）

〔高校生〕

回答者の属性について（5問）

食生活の実態と栄養に関する知識について（11問）

〔成人〕

回答者の属性について（5問）

食生活の実態と栄養に関する知識について（11問）

iv)回収結果

〔子ども〕

配布数 1,731
 回収数（率） 1,267（73.2%）
 有効回収数（率） 1,237（71.5%）

回収状況表

		発送数	有効回収数	有効回収率
合計数		1, 7 3 1	1, 2 3 7	7 1. 5%
性別	男児	* * * *	6 4 4	* * * *
	女児	* * * *	5 9 3	* * * *

〔高校生〕

配布数 327
 回収数 326（99.7%）
 有効回収数（率） 319（97.6%）

回収状況表

		配布数	有効回収数	有効回収率
合計数		3 2 7	3 1 9	9 7. 6%
性別	男性	* * * *	1 6 6	* * * *
	女性	* * * *	1 5 3	* * * *

〔成人〕

配布数 1,900
 回収数（率） 494（26.0%）
 有効回収数（率） 486（25.6%）

回収状況表

		発送数	有効回収数	有効回収率
合計数		1, 9 0 0	4 8 6	2 5. 6%
性別	男性	8 4 2	2 0 6	2 4. 5%
	女性	1, 0 5 8	2 8 0	2 6. 5%
年代別	20歳代	1 5 8	2 5	1 5. 8%
	30歳代	1 9 8	2 2	1 1. 1%
	40歳代	2 7 9	5 8	2 0. 8%
	50歳代	2 6 7	6 9	2 5. 8%
	60歳代	4 1 0	1 4 4	3 5. 1%
	70歳代	3 2 6	1 1 3	3 4. 7%
	80歳代	2 1 3	4 6	2 1. 6%
	90歳以上	4 9	9	1 8. 4%

v)本報告書の見方について

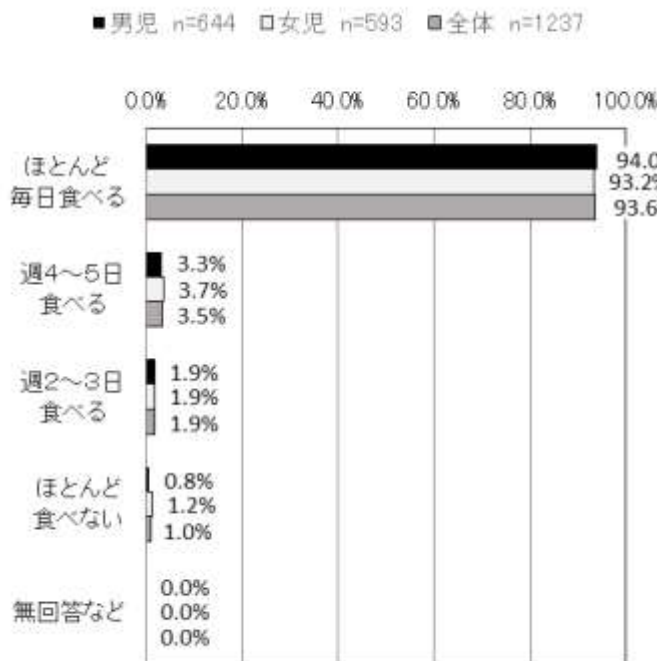
- 比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
- 基数となるべき実数は、n＝〇〇〇として掲載し、各比率はnを100%として算出した。
- 設問の中で、3つまで選択する間については、4つ以上選択した回答については無効とした。
- 男女間でのカイニ乗検定を行い、P<0.01を有意差あり、P<0.05を傾向ありとした。
- その他の回答については、自由記載となっており、記載どおりに掲載した。

II 調査の結果

i) 子ども

問1 朝食の摂取状況について

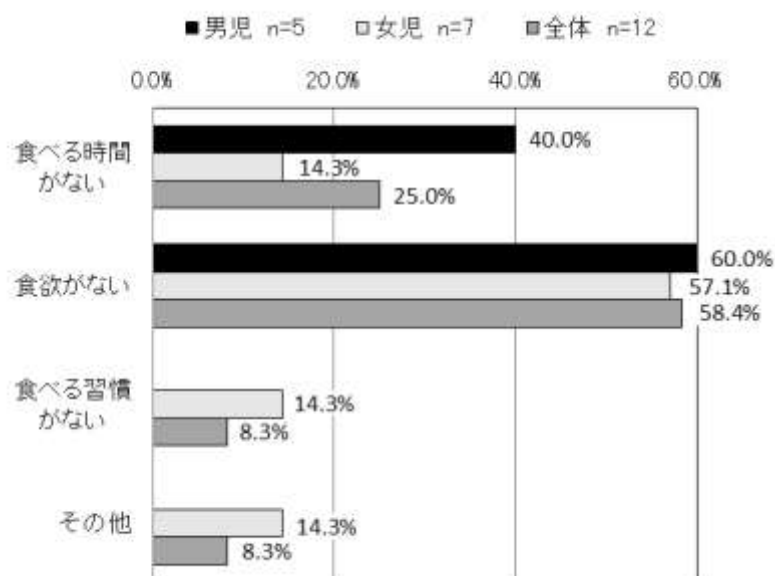
「お子さんは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



朝食の摂取状況については、習慣的に朝食を「ほとんど毎日食べる」お子さんの割合は、全体では 93.6%、男児が 94.0%、女児が 93.2%であった。

朝食を食べない理由について

「問 1 で④のほとんど食べないに○をつけた方にうかがいます。お子さんが朝食を食べない理由は何ですか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

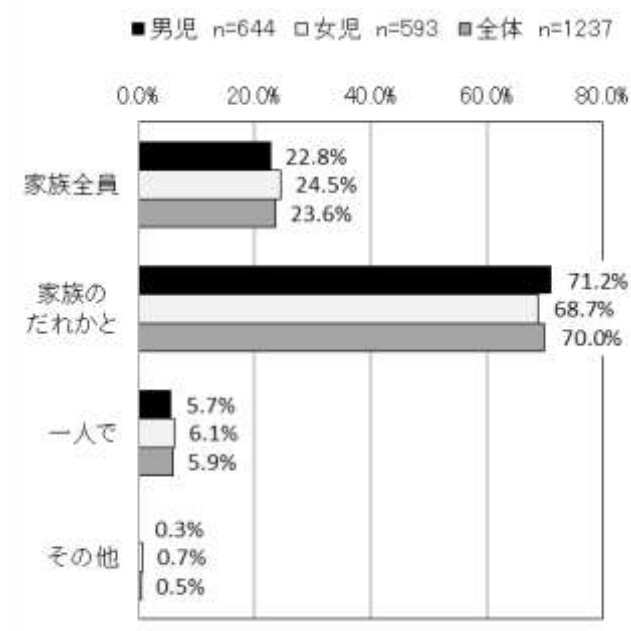


朝食を食べない理由としては、「食欲がない」が全体で 58.4%と高かった。

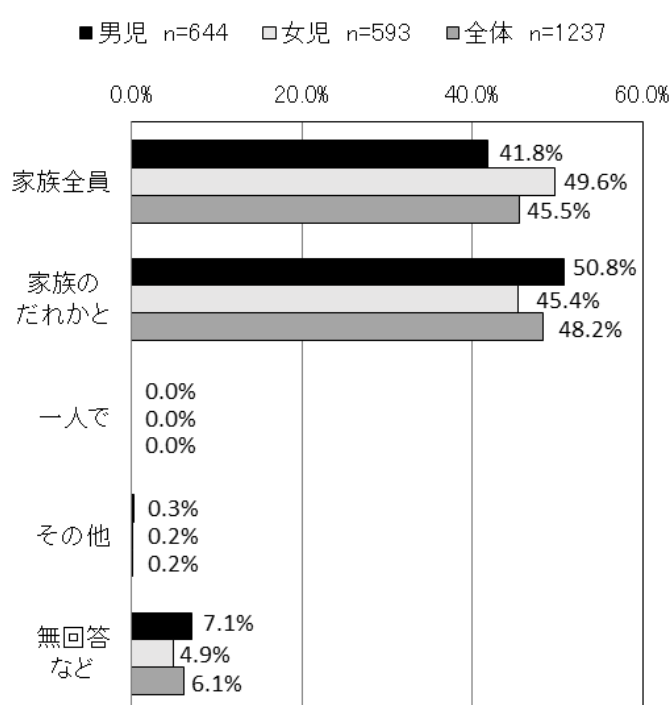
問2 食事の共食状況について

「お子さんは、ふだん食事はだれと一緒に食べますか。」

朝食



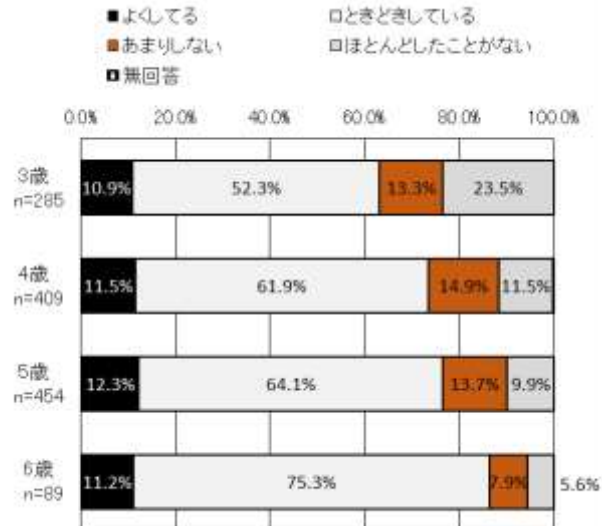
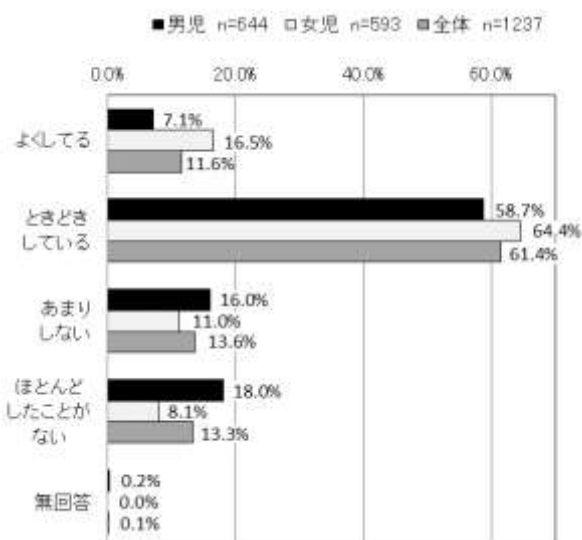
夕食



食事の共食について「家族全員」、「家族の誰か」と一緒に食べると答えた割合は、朝食の割合は全体で 93.6%、夕食の割合が全体で 93.7%であった。

問3 食事等の手伝いの状況について

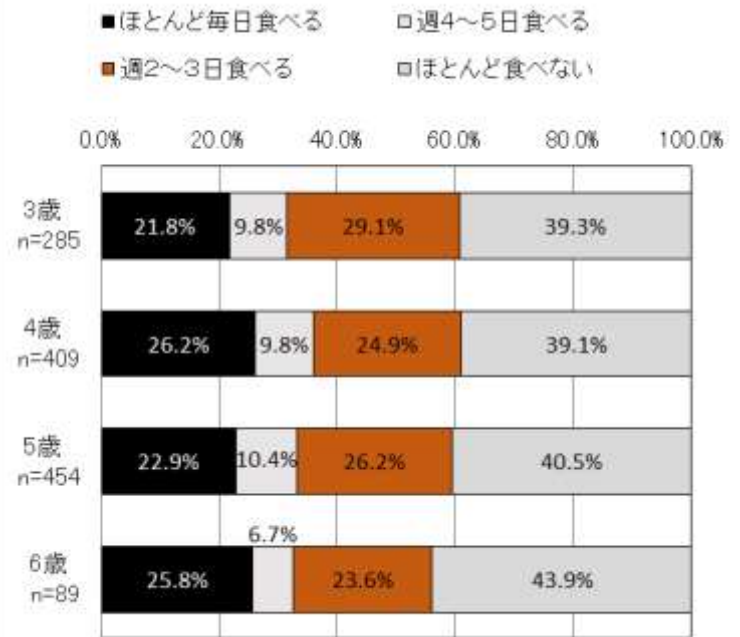
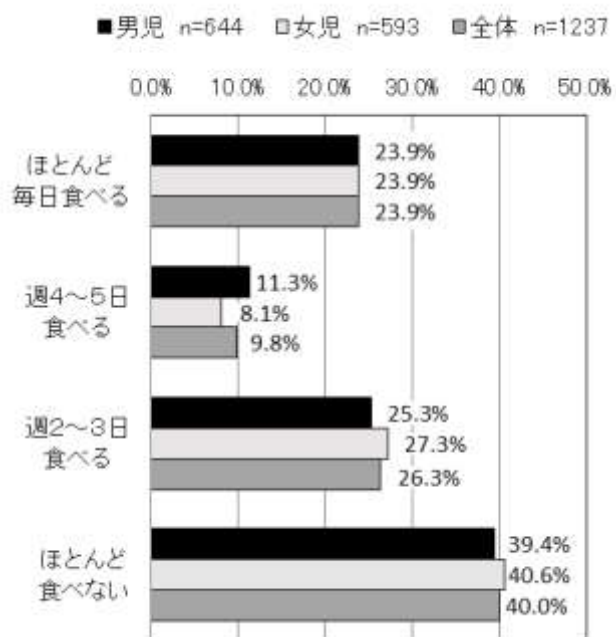
「お子さんは、ふだん食事の支度を手伝ったり、料理を作ったりしますか。」



食事の支度や料理を作ったりすることが「よくしている」、「ときどきしている」と答えた割合が全体で 73.0%、男児が 65.8%、女児が 80.9%であった。男児よりも女児の方が食事の支度や料理を作ったりすることが多かった。(P<0.01)

問4 夕食後の間食(おやつ)について

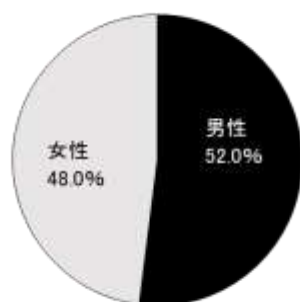
「お子さんは、夕食後に間食（おやつ）を食べることがありますか。」



夕食後に間食（おやつ）を「ほとんど毎日食べる」と答えたお子さんの割合は、全体、男児、女児ともに 23.9%であった。

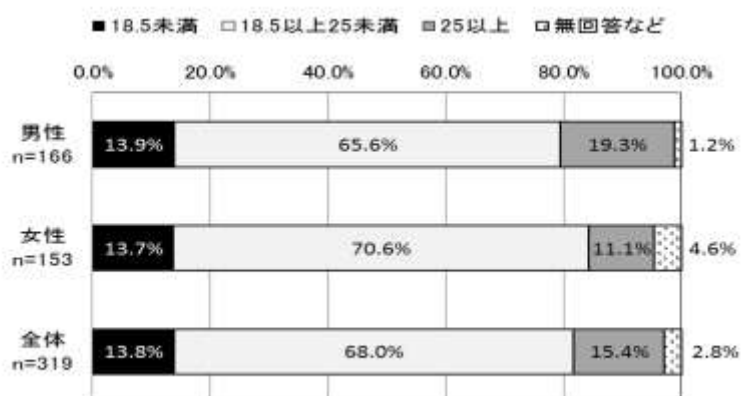
ii) 高校生

① 回答者の属性について



アンケートに回答した方の性別は、男性 166 人 (52.0%)、女性 153 人 (48.0%) であった。
平均学年 2.12 年生

BMI について

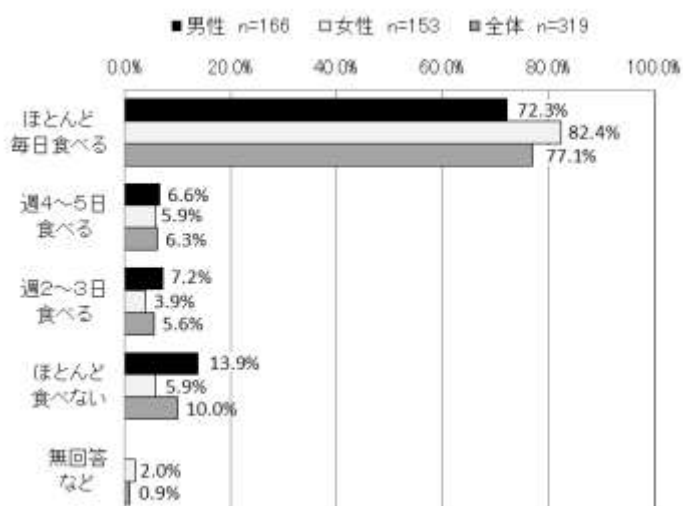


「太っている」、「やせている」の自己申告について男女間で有意な差はなかった。
($P > 0.05$)

② 食生活について

問1 朝食の摂取状況について

「あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

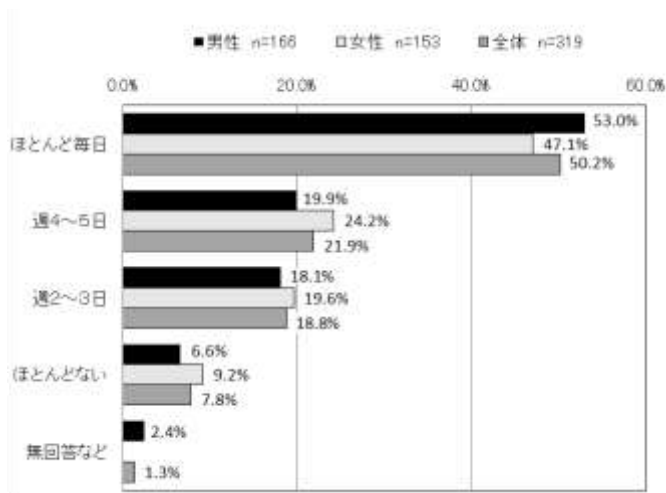


朝食の摂取状況については、習慣的に朝食を「ほとんど毎日食べる」方の割合は、全体では 77.1%、男性では 72.3%、女性では 82.4% であった。

習慣的に朝食を「ほとんど食べない」方の割合は、全体では 10.0%、男性では 13.9%、女性では 5.9% であり、男子生徒の欠食が多い傾向にあった。
($P < 0.05$)

問2 食事のバランスについて

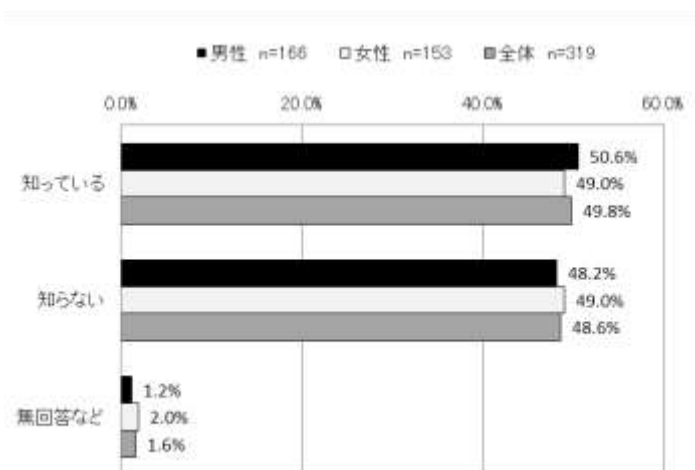
「あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上「ほとんど毎日」食べている方の割合は、全体では 50.2%、男性では 53.0%、女性では 47.1%であった。

問3 食事バランスガイドの認知度について

「あなたは、「食事バランスガイド」について知っていますか。」

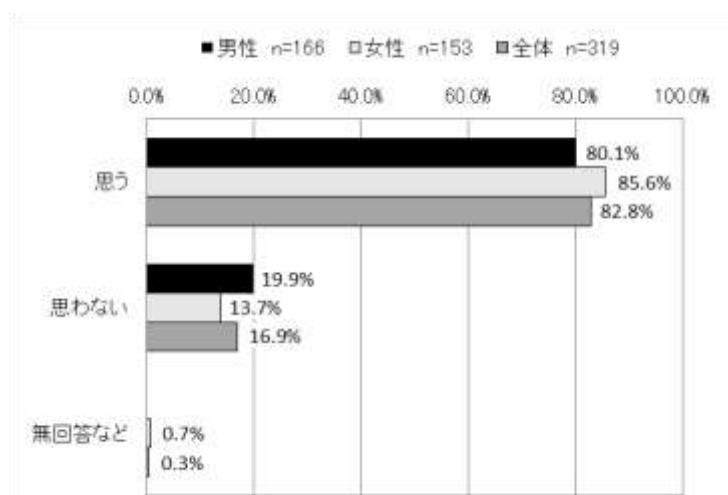


食事バランスガイドを「知っている」方の割合は、全体で 49.8%、男性が 50.6%、女性が 49.0%であった。

食事バランスガイドを「知っている」と答えた方は、男女間で有意な差はなかった。(P>0.05)

問4 食事バランスガイドの活用について

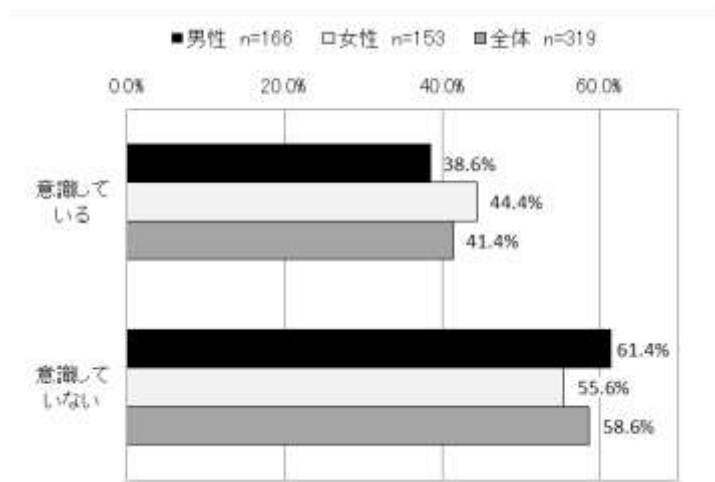
「あなたは「食事バランスガイド」を参考にしたいと思いますか。」



食事バランスガイドを参考にしたいと「思う」と回答した方が全体で 82.8%、男性が 80.1%、女性が 85.6%であった。

問5 食生活で意識していることについて

「あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけるように意識していますか。」

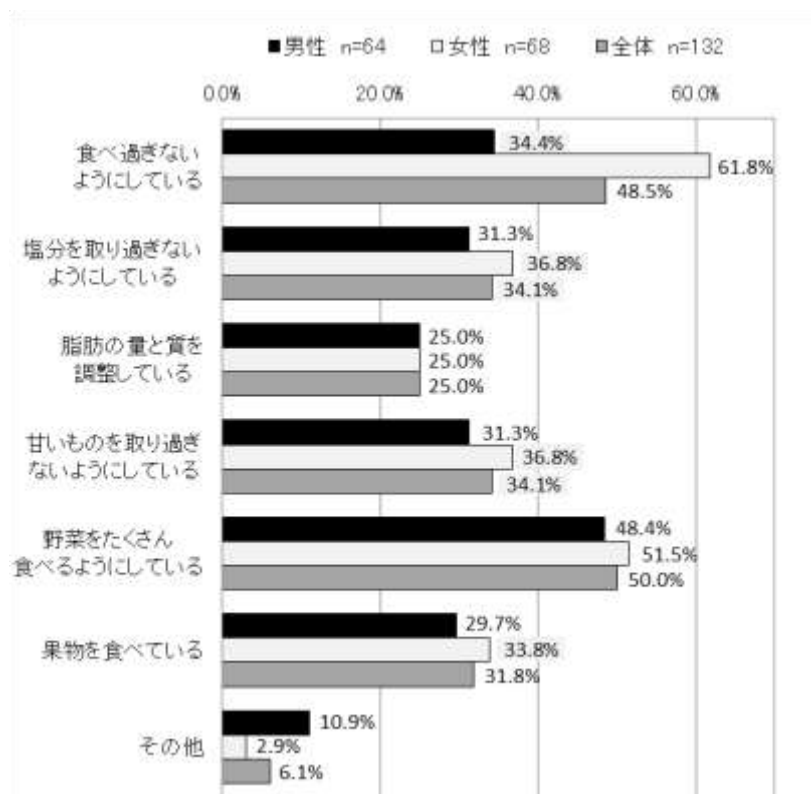


食生活を「意識している」方の割合は、全体で 41.4%、男性 38.6%、女性 44.4%であった。

食生活を「意識している」割合について、男女間で有意な差はなかった。
($P>0.05$)

問6 食生活で意識していることについて

「問5で「1」を選んだ方にお尋ねします。それはどのようなことですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



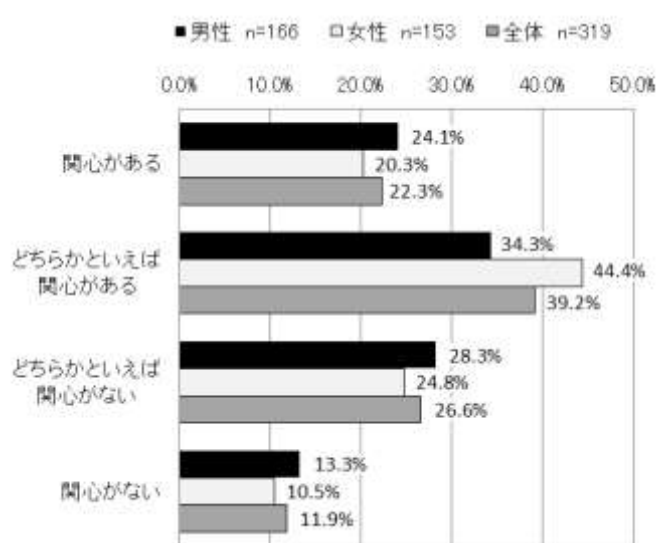
食生活で気をつけていることは、全体では、「野菜をたくさん食べるようにしている」が 50.0%、「食べ過ぎないようにしている」が 48.5%で高かった。

「野菜をたくさん食べるようにしている」と答えた方の男女差はなかった。
($P>0.05$)

「食べ過ぎないようにしている」と答えた方は男性より女性のほうが多い。
($P<0.01$)

問7 食育の関心度について

「あなたは、「食育」について関心がありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

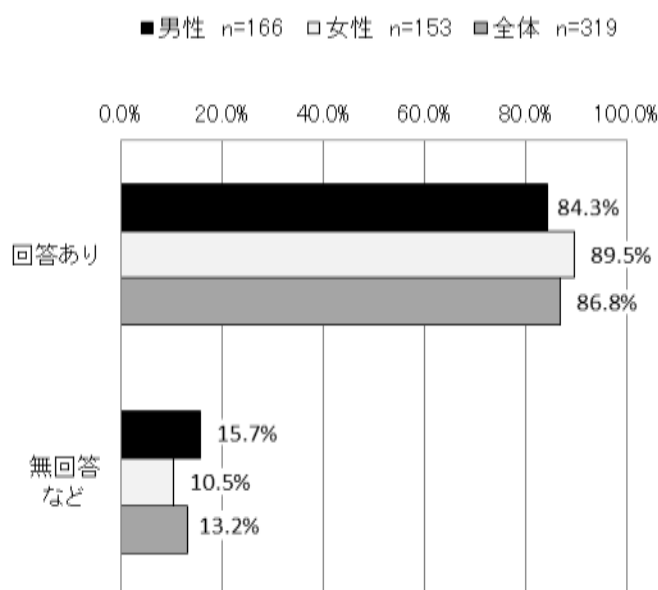


食育について「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」は全体で 61.5%、男性は 58.4%、女性は 64.7%だった。

食育に関心がある人の割合において、男女間で有意な差は見られなかった。(P>0.05)

問8 郷土料理について

「あなたが知っている小樽を代表とする食品（菓子類、飲み物を含む）郷土料理は、何ですか。」



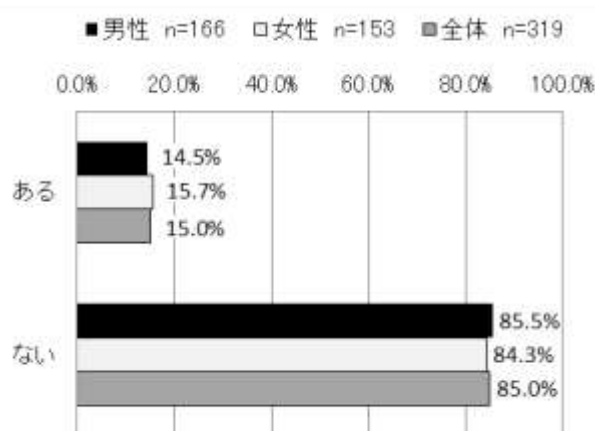
小樽を代表とする食品（菓子類、飲み物を含む）郷土料理を知っている方の割合は、全体で 86.8%、男性 84.3%、女性 89.5%であった。

(回答内容 (自由記載))

- ・かまぼこ (103 件)
- ・菓子類 (89 件)
- ・海産物 (75 件)
- ・小樽以外の食品・料理 (51 件)
- ・あんかけ焼きそば (47 件)
- ・寿司 (38 件)
- ・地酒・ワイン・水 (29 件)
- ・魚介類を使った料理 (13 件)
- ・若鶏半身揚げ・ザンギ (12 件)

問9 「食」に関するイベントの参加について

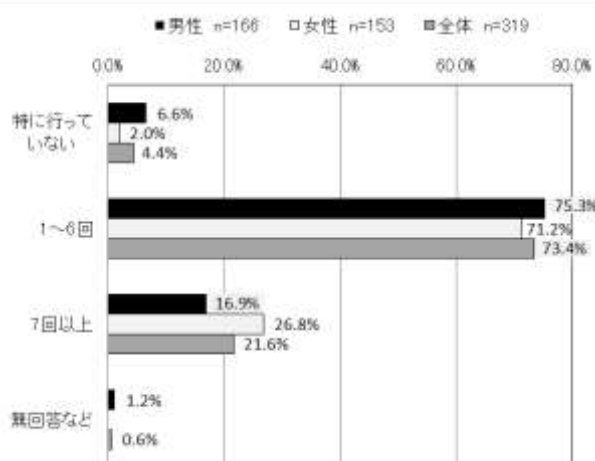
「あなたは、小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことがありますか。」



小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことが「ある」方の割合は、全体で 15.0%、男性 14.5%、女性 15.7%だった。

問10 行事食について

「あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。（行事食は手作りでなくても構いません）」

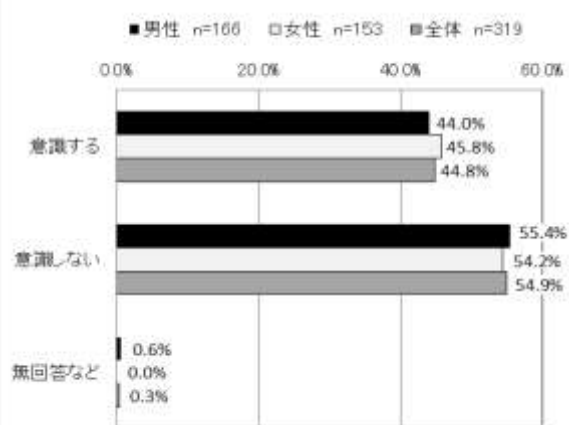


御家庭で行事食を行っている回数は 1～6 回行っている方が多く、全体で 73.4%、男性で 75.3%、女性で 71.2%であった。

行事食を行っている回数は平均すると全体で 4.2 回であった。

問11 食材を選ぶ際の基準について

「あなたは、食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。」



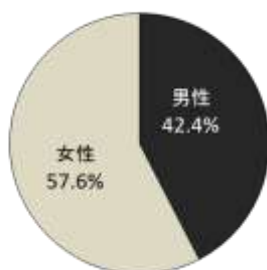
食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を「意識している」方の割合は、全体で 44.8%、男性 44.0%、女性 45.8%であった。

栄養成分表示や産地等を意識する人の割合において、男女間で有意な差は見られなかった。
($P>0.05$)

ii) 成人

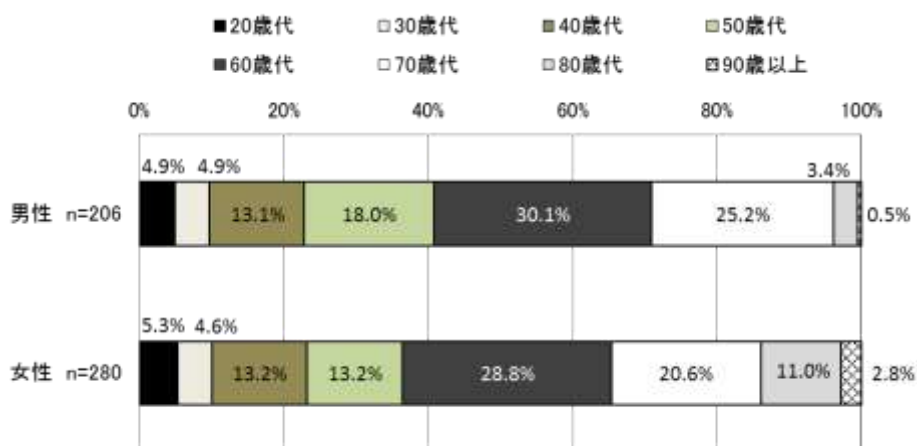
① 回答者の属性

性別について (n=486)



性別については、女性の割合が 57.6% (280 人)、男性が 42.4% (206 人) となっており、回答率は女性の方が高い。
($P < 0.01$)

年代について

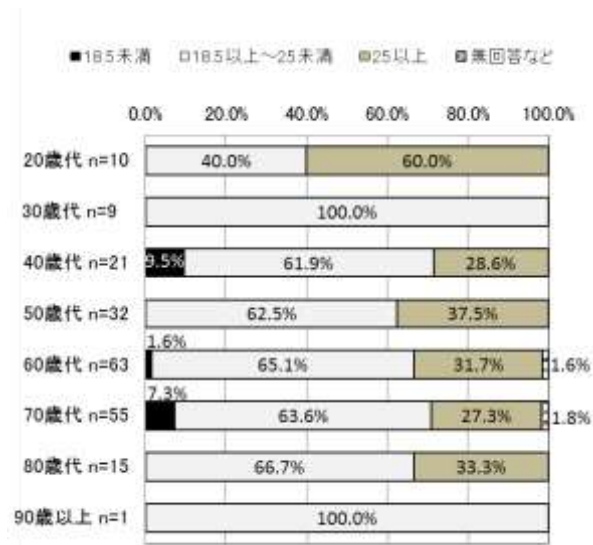


回収者の年代は、男女とも 60 歳代が多かった。

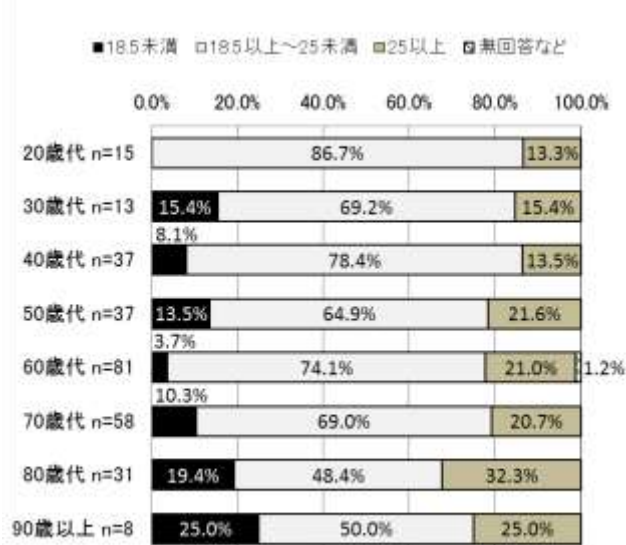
体重及び身長について

体重と身長については、体格指数 (Body Mass Index : BMI、以下 BMI とする) を計算した。
BMI は、体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) で算出し、22.0 が理想体重といわれている。
18.5 未満を「痩せ」、18.5 以上 25.0 未満が「標準体重」、25.0 以上を「肥満」としている。

男性 (n=206)



女性 (n=280)



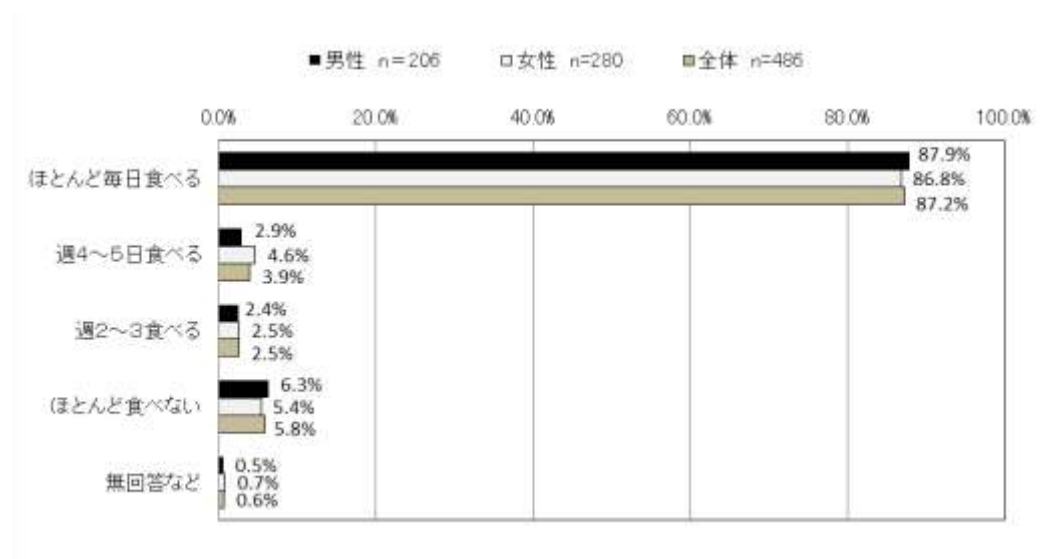
肥満の方は、20 歳代男性、80 歳代女性に多かった。

痩せの方は、男性では 40 歳代と 70 歳代、女性では 80 歳代と 90 歳代で多かった。

②食生活について

問1 朝食の摂取状況について

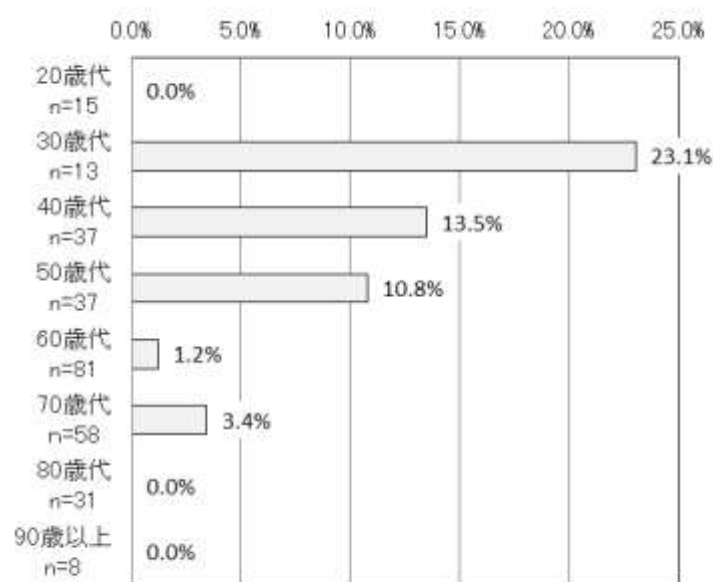
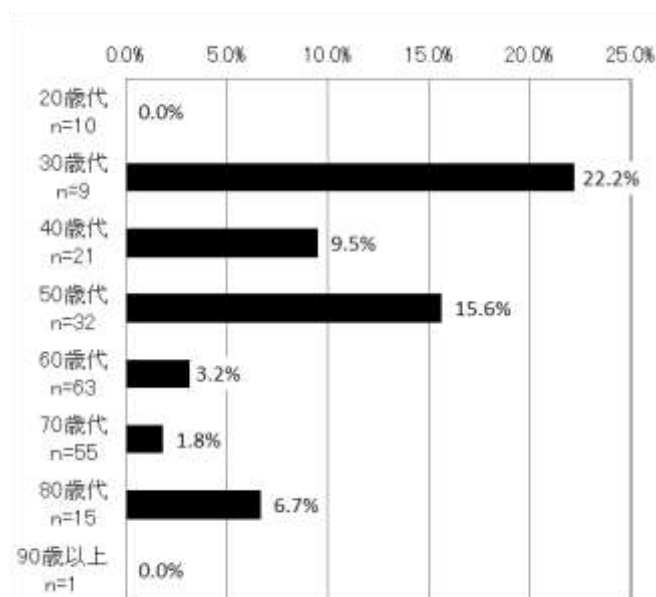
「あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



習慣的に朝食をほとんど食べない方の割合

男性

女性

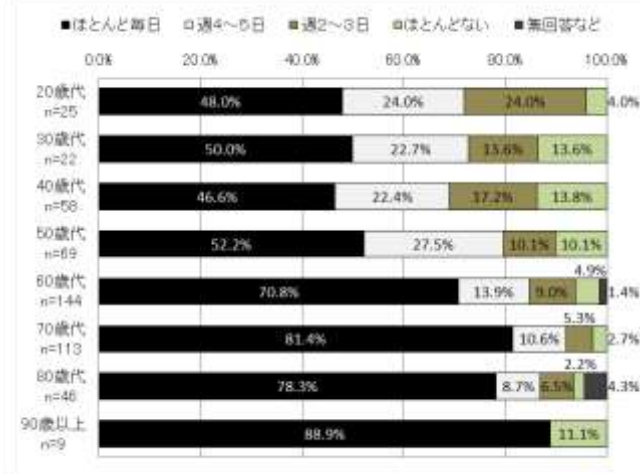
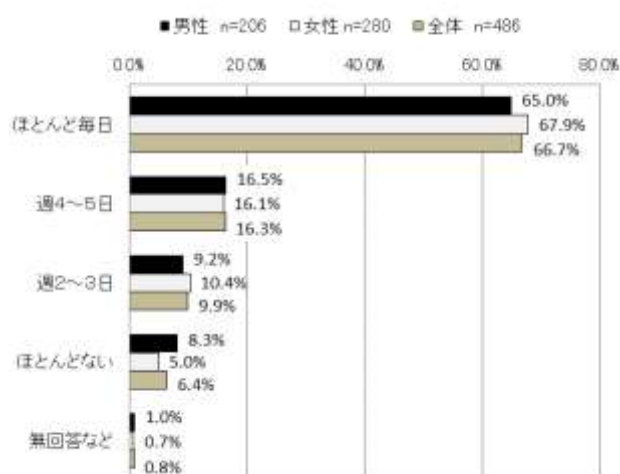


朝食の摂取状況については、習慣的に朝食を「ほとんど毎日食べる」方の割合は、全体では 87.2%、男性では 87.9%、女性では 86.8%であった。朝食の摂取状況において、男女の有意差は見られなかった。(P>0.05)

また、習慣的に朝食を「ほとんど食べない」方の割合は、全体では 5.8%、男性では 6.3%、女性では 5.4%であり、年齢別にみると男女ともに 30 歳代で高かった。

問2 食事のバランスについて

「あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

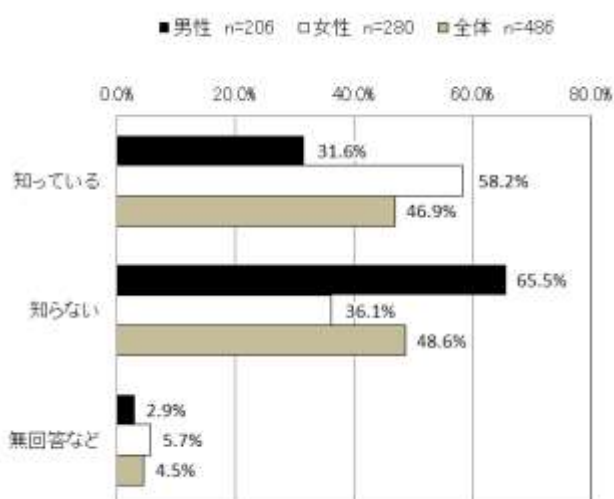


主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上「ほとんど毎日」食べている方の割合は、全体では66.7%、男性では65.0%、女性では67.9%であった。

年齢別にみると20歳代で48%、30歳代で50.0%、40歳代で46.6%と若い世代は低かった。

問3 食事バランスガイドの認知度について

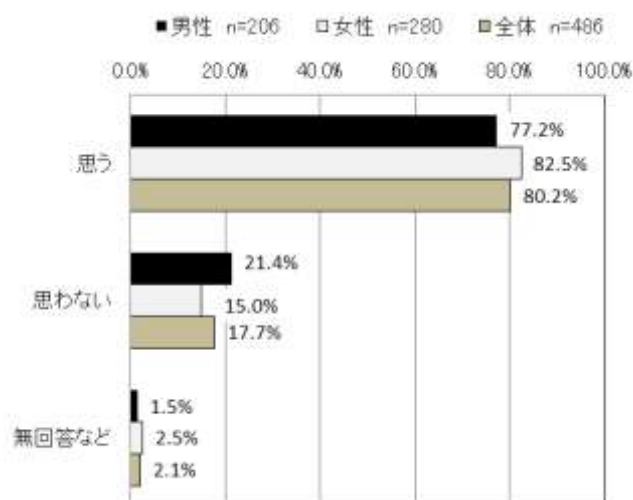
「あなたは、「食事バランスガイド」について知っていますか。」



食事バランスガイドを知っている方の割合は、全体で46.9%、男性が31.6%、女性が58.2%であった。食事バランスガイドについて「知っている」と答えた方は、男性より女性の方が多かった。(P<0.01)

問 4 食事バランスガイドを参考にしたいかについて？

「あなたは「食事バランスガイド」を参考にしたいと思いますか。」

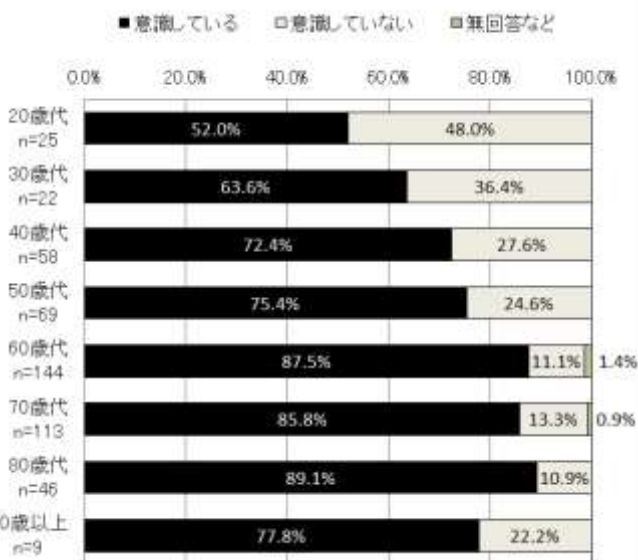
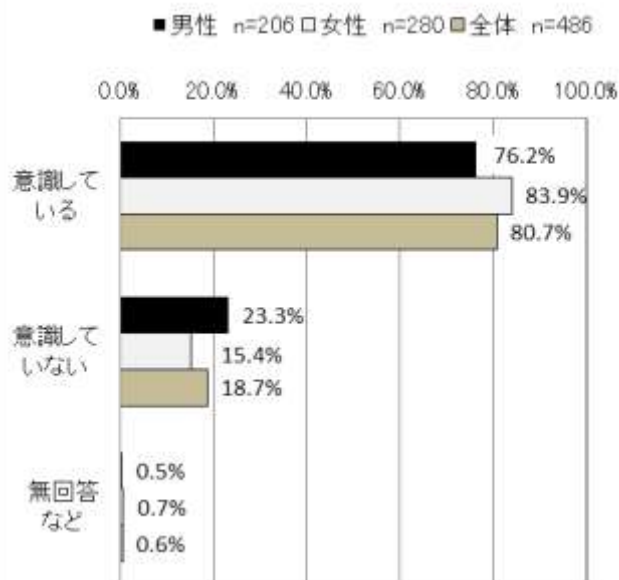


食事バランスガイドを参考にしたいと「思う」と回答した方が全体で 80.2%、男性が 77.2%、女性が 82.5%であった。

年代別に見ると 20 歳代で 84%、30 歳代 90.9%、40 歳代で 86.2%と高い。

問5 食生活で意識していることについて

「あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけるように意識していますか。」

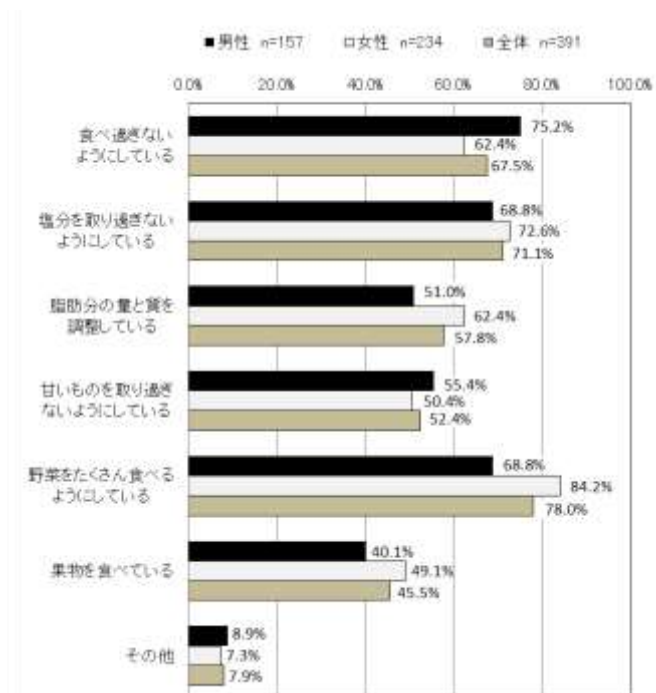


食生活を「意識している」方の割合は、全体で 80.7%、男性 76.2%、女性 83.9%であった。（食生活を意識している方の割合において）男女間で有意な差は見られなかった。（ $P>0.05$ ）

年代別に見ると、60 歳代が 87.5%、70 歳代が 85.8%、80 歳代が 89.1%と高い。

問6 食生活で意識していることについて

「問5で「1」を選んだ方にお尋ねします。それはどのようなことですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



食生活で気をつけていることは、全体では、「野菜をたくさん食べるようにしている」が78.0%、「塩分を取り過ぎないようにしている」が71.1%、「食べ過ぎないようにしている」が67.5%で高かった。

「野菜をたくさん食べるようにしている」と答えた方は男性より女性のほうが多い。

($P < 0.01$)

「塩分を取り過ぎないようにしている」と答えた方は男女に差はなかった。

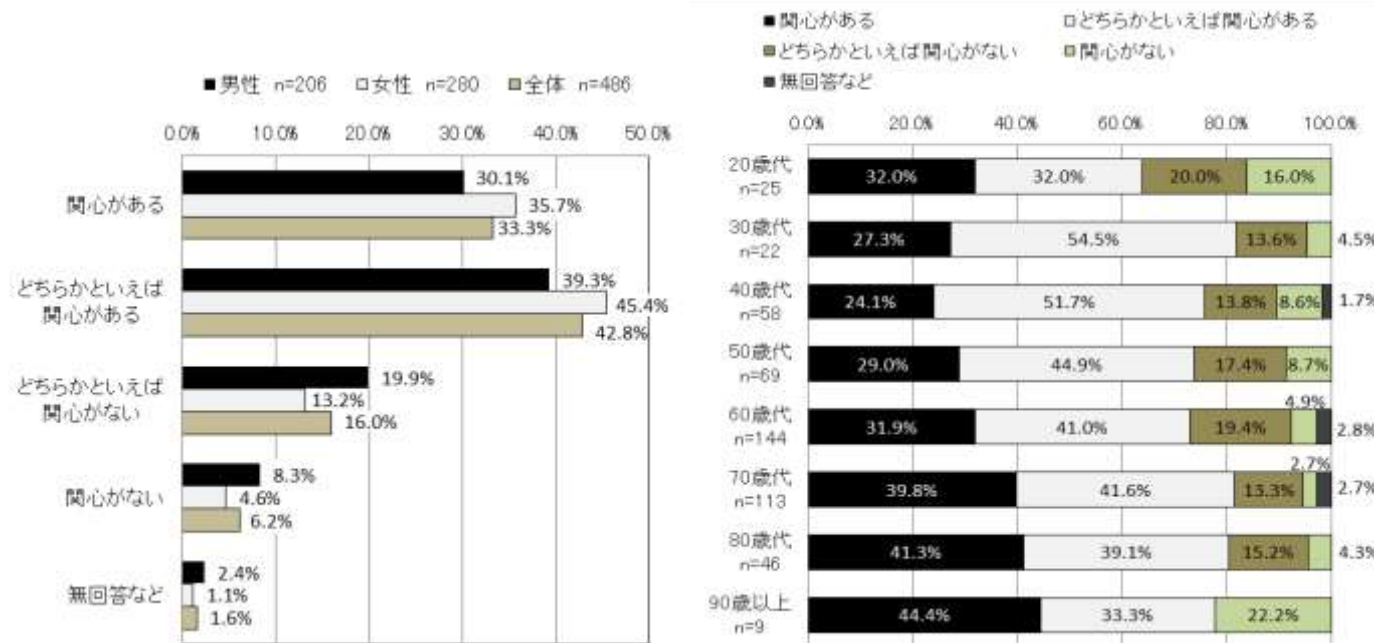
($P > 0.05$)

「食べ過ぎないようにしている」と答えた方は女性より男性のほうが多い。

($P < 0.01$)

問7 食育の関心度について

「あなたは、「食育」について関心がありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

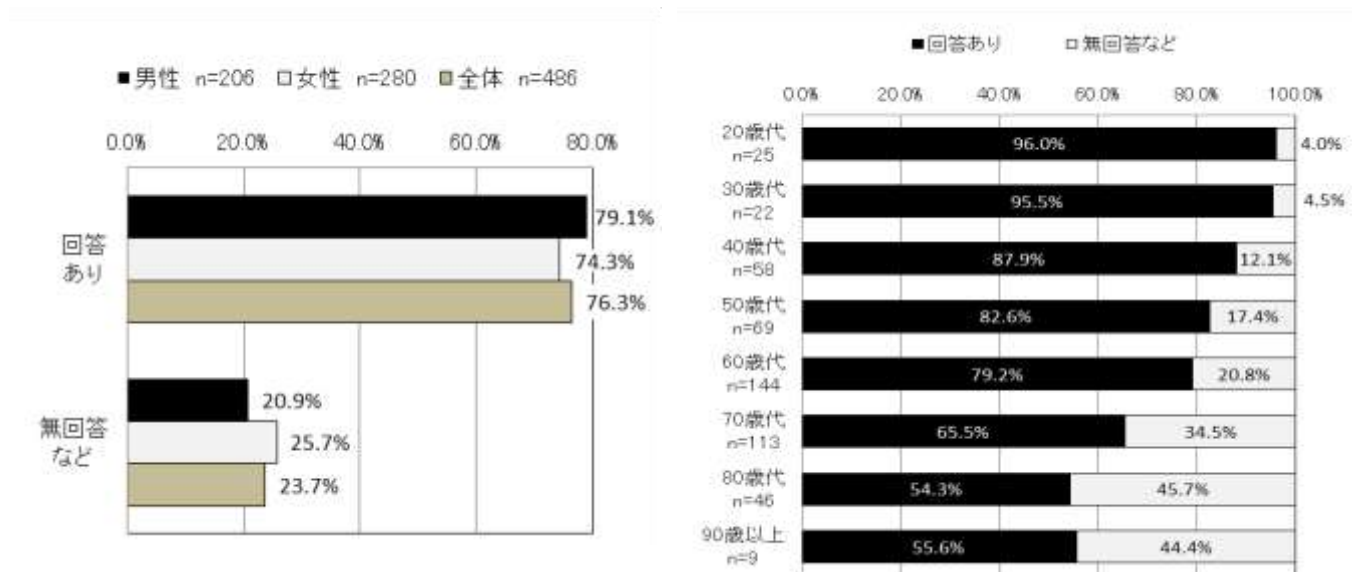


食育について「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答した方が全体で76.1%、男性69.4%、女性81.1%であった。

食育について関心がある人の割合について、男女間で有意な差は見られなかった。($P > 0.05$)

問8 郷土料理について

「あなたが知っている小樽を代表とする食品（菓子類、飲み物を含む）郷土料理は、何ですか。」



(回答内容 (自由記載))

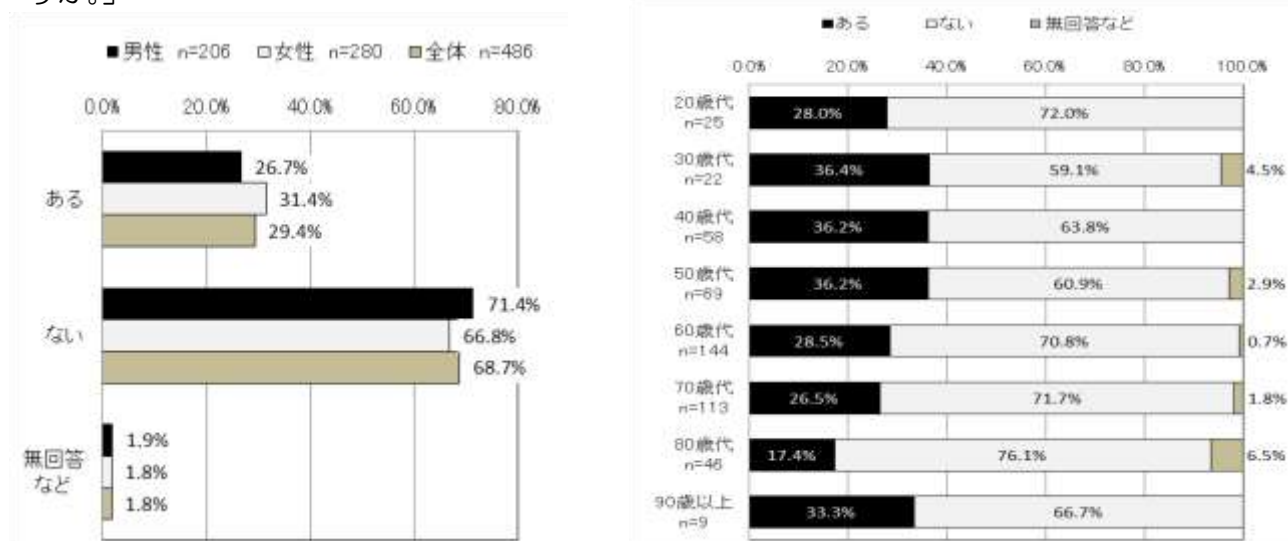
- 菓子類 (255 件)
- 海産物 (189 件)
- 地酒・ワイン・水 (133 件)
- 寿司 (123 件)
- かまぼこ (101 件)
- あんかけ焼きそば (91 件)
- 若鶏半身揚げ、ザンギ (36 件)
- 魚介を使った料理 (29 件)

小樽を代表とする食品(菓子類、飲み物を含む)郷土料理を知っている方の割合は、全体で 76.3%、男性 79.1%、女性 74.3%であった。

年代別に見ると、20 歳代、30 歳代と若い世代が知っていると回答した方が多かった。

問9 「食」に関するイベントの参加について

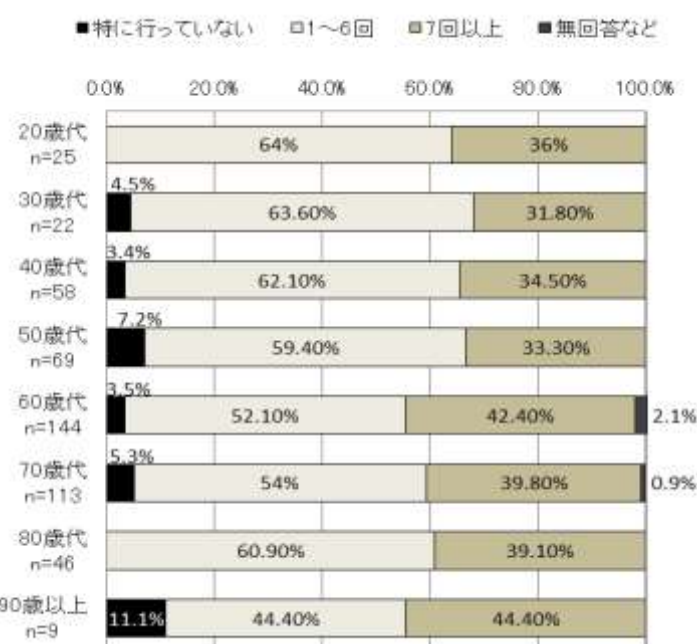
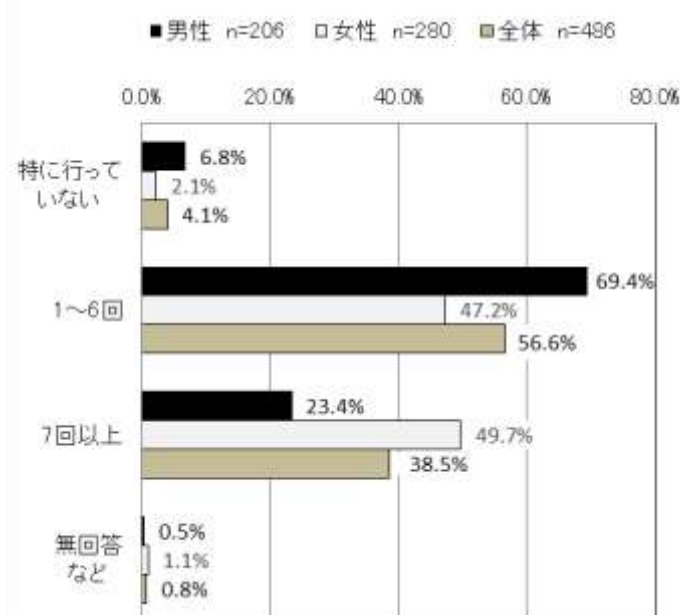
「あなたは、小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことがありますか。」



小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことが「ある」方の割合は、全体で 29.4%、男性 26.7%、女性 31.4%であった。

問10 行事食について

「あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。（行事食は手作りでなくても構いません）」

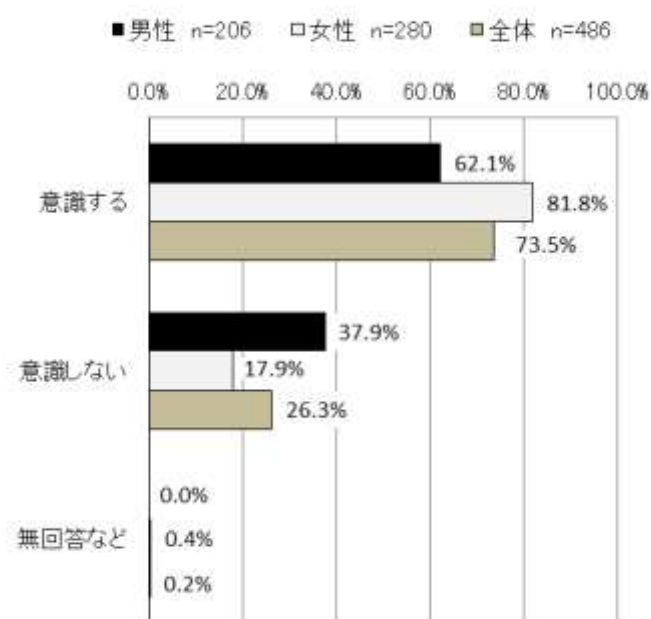


御家庭で行事食を行っている回数は全体では 1~6 回行っている方が 56.6% で多かった。

男性では 1~6 回行っている方が多く 69.4%、女性では 7 回以上行っている方が多く 49.7% であった。行事食を行っている回数は平均すると全体で 5.5 回であった。

問11 食材を選ぶ際の基準について

「あなたは、食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。」



食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を「意識する」方の割合は、全体で 73.5%、男性 62.1%、女性 81.8% であった。女性の意識する割合が高かった。(P<0.01)

V) アンケート調査表

子ども食育調査



— お子さんのことについてお伺いします。 —

※ 2 名以上通園している場合は上のお子さんについて回答してください。

性別

男	女
---	---

年齢

--

 歳（平成 28 年 6 月 1 日現在の年齢を御記入ください。）

それぞれの設問について、あてはまる項目に○をつけてください。

問 1 お子さんは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を 1 つ選んで ○印をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ほとんど毎日食べる | ② 週 4 ～ 5 日食べる |
| ③ 週 2 ～ 3 日食べる | ④ ほとんど食べない |

問 1 で、④のほとんど食べないに○をつけた方にうかがいます。お子さんが朝食を食べない理由はなんですか。該当する番号を 1 つ選んで ○印をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| ① 食べる時間がない | ② 食欲がない |
| ③ 食べる習慣がない | ④ その他() |

問 2 お子さんは、ふだん食事はだれと一緒に食べますか。

朝食と夕食について、それぞれ該当する番号を 1 つ選んで ○印をつけてください。

朝食

- | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|
| ① 家族全員 | ② 家族のだれかと | ③ 1 人で | ④ その他() |
|--------|-----------|--------|----------|

夕食

- | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|
| ① 家族全員 | ② 家族のだれかと | ③ 1 人で | ④ その他() |
|--------|-----------|--------|----------|

問 3 お子さんは、ふだん食事の支度を手伝ったり、料理を作ったりしますか。

該当する番号を 1 つ選んで ○印をつけてください。

- | | |
|----------|---------------|
| ① よくしている | ② ときどきしている |
| ③ あまりしない | ④ ほとんどしたことがない |

問 4 お子さんは、夕食後に間食(おやつ)を食べることがありますか。

該当する番号を 1 つ選んで ○印をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ほとんど毎日食べる | ② 週 4 ～ 5 日食べる |
| ③ 週 2 ～ 3 日食べる | ④ ほとんど食べない |

高校生用「第2次健康おたる21」中間評価アンケート調査

〔食育関連の設問項目を抜粋し掲載しています。〕

最初にあなたの基本的な情報をお教えてください。

該当するものに○印をつけてください。また、記入日、学年、体重、身長は具体的な数値を御記入ください。

記入日 平成28年 月 日

性別 男 女

学年 年生

体重 . キログラム (記入日現在の体重を御記入ください。)

記入例・・・65.4キログラムの場合⇒ 65. 4 キログラム

身長 . センチメートル (最近測定した値で一番新しい数値を御記入ください。)

記入例・・・168.1センチメートルの場合⇒ 168. 1 センチメートル

問1 あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほとんど毎日食べる
- 2 週4～5日食べる
- 3 週2～3日食べる
- 4 ほとんど食べない

問2 あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週4～5日
- 3 週2～3日
- 4 ほとんどない

※主食(ごはん、パン、麺など)

主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理)

副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢の料理)

問3 あなたは、「食事バランスガイド※」(右図)について知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

※食事バランスガイドは1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいのかの目安をわかりやすくコマのイラストで示したものです。(右図参照)



問4 あなたは、「食事バランスガイド」を参考にしたいと思いますか。

- 1 参考にしたいと思います
- 2 参考にしたいと思わない

2を選択した方にお尋ねします。その理由は何ですか。

- 問 5 あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけるように意識していますか。
- 1 意識している
 - 2 意識していない
- 問 6 問 5 で「1」を選んだ方にお尋ねします。それはどのようなことですか。該当する番号をすべて選んで○印をつけてください。
- 1 食べ過ぎないようにしている（カロリーを制限している）
 - 2 塩分を取り過ぎないようにしている（減塩をしている）
 - 3 脂肪（あぶら）分の量と質を調整している
 - 4 甘いもの（糖分）を取り過ぎないようにしている
 - 5 野菜をたくさん食べるようにしている
 - 6 果物を食べている
 - 7 その他（ ）
- 問 7 あなたは、「食育」について関心がありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。
- 1 関心がある
 - 2 どちらかといえば関心がある
 - 3 どちらかといえば関心がない
 - 4 関心がない
- 問 8 あなたが知っている小樽を代表する食品（菓子類、飲み物を含む）や郷土料理は何ですか。知っているものを1つ以上記載してください。
- 〔 〕
- 問 9 あなたは、小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことがありますか。
- 1 参加したことがある
 - 2 参加したことがない
- 参考：にしん群来祭り、ワインカーニバル、しゃこ祭など
- 問 10 あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号をすべて選んで○印をつけてください。（行事食は手作りでなくても構いません）
- 1 お正月（おせち・雑煮・七草かゆなど）
 - 2 節分（豆まき・恵方まきなど）
 - 3 桃の節句（ひなあられ・ひし餅・白酒など）
 - 4 春分の日（ぼた餅など）
 - 5 端午の節句（かしわ餅・ちまき・べこもちなど）
 - 6 セタ（そうめんなど）
 - 7 土用の日（うなぎなど）
 - 8 秋分の日（おはぎなど）
 - 9 十五夜（月見団子など）
 - 10 冬至（冬至かぼちゃなど）
 - 11 大晦日（年越しそば）
 - 12 その他（ ）
 - 13 特に行っていない
- 問 11 あなたは、食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。
- 1 意識する
 - 2 意識しない

成人用「第2次健康おたる21」中間評価アンケート調査

〔食育関連の設問項目を抜粋し掲載しています。〕

最初にあなたの基本的な情報をお教えてください。

該当するものに○印をつけてください。また、記入日、年齢、体重、身長は具体的な数値を御記入ください。

記入日 平成28年 月 日

性別 ☐ 男 ☐ 女

年齢 歳（記入日現在の年齢を御記入ください。）

体重 . キログラム（記入日現在の体重を御記入ください。）

記入例・・・65.4キログラムの場合⇒ 65. 4 キログラム

身長 . センチメートル（最近測定した値で一番新しい数値を御記入ください。）

記入例・・・168.1センチメートルの場合⇒ 168. 1 センチメートル

I 食生活について

問1 あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほとんど毎日食べる
- 2 週4～5日食べる
- 3 週2～3日食べる
- 4 ほとんど食べない

問2 あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほとんど毎日である
- 2 週4～5日である
- 3 週2～3日である
- 4 ほとんどない

※主食（ごはん、パン、麺など）

主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）

副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢の料理）

問3 あなたは、「食事バランスガイド（※）」（右図）について知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

※食事バランスガイドは1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいのかの目安をわかりやすくコマのイラストで示したものです。（右図参照）



2を選択した方にお尋ねします。その理由は何ですか。

2 意識していない

7 その他 ()

4 関心がない

問8 あなたが知っている小樽を代表する食品(菓子類、飲み物を含む)や郷土料理は、何ですか。

参考：にしん群来祭り、ワインカーニバル、しゃこ祭など

問 1 0 あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。(行事食は手作りでも構いません)

- 1 お正月(おせち・雑煮・七草かゆなど)
- 2 節分(豆まき・恵方まきなど)
- 3 桃の節句(ひなあられ・ひし餅・白酒など)
- 4 春分の日(ぼた餅など)
- 5 端午の節句(かしわ餅・ちまき・べこもちなど)
- 6 七夕(そうめんなど)
- 7 土用の日(うなぎなど)
- 8 秋分の日(おはぎなど)
- 9 十五夜(月見団子など)
- 1 0 冬至(冬至かぼちゃなど)
- 1 1 大晦日(年越しそば)
- 1 2 その他()
- 1 3 特に行っていない9 十五夜(月見団子など)

問 1 1 あなたは。食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。

- 1 意識する
- 2 意識しない

〒047-0033

小樽市富岡1-5-12

小樽市保健所 健康増進課

TEL 0134-22-3110

FAX 0134-22-1469

E-mail kenko@city.otaru.lg.jp